

添付資料

1. プロジェクト・デザイン・マトリックス (PDM) (1) (評価用 PDM)
2. 調査用評価グリッド
3. 投入実績の調査結果 (人材・資機材)
4. 過去 3 年間の活動実績
5. 活動実績の調査結果
6. 主なカウンターパート研修/シンポジウム/ワークショップ/セミナー実績
7. プロジェクトで作成・準備した主なドキュメント (成果品)
8. 目標・成果達成度の調査結果
9. 実施プロセスの調査結果
10. 5 項目評価結果
11. バンジャブ州識字局の組織体制図
12. バンジャブ州対象県の地方識字行政体制図
13. 対象 4 県の識字率・裨益対象者数等に関わる情報
14. ノンフォーマル識字小学校のモニタリングシート
15. 署名ミニッツ

プロジェクト・デザイン・マトリックス (PDM) -1 (評価用 PDM)

プロジェクト名: パンジャブ州識字行政改善プロジェクト 期間: 2004年7月15日—2007年7月14日(3年間)

プロジェクト対象地域: DG ハーン、ハーネーワール、フシャープ、マンディーハハーウディーン

ターゲットグループ: プロジェクト対象地域の 5-14 歳の非就学児童および 15-35 歳の成人の非識字者

プロジェクトの要約	指標	指標データ入手手段	外部条件
<p>上位目標 モデル県において1)識字プロジェクトマネジメントの枠組みが維持される。2)識字率が州EF A計画の数値以上に維持される。</p> <p>プロジェクト目標 モデル県の識字事業が、プロジェクトで構築される識字プロジェクトマネジメントの枠組み*に基づいて実施される。</p> <p>*各レベルの行政および住民組織(ユニオン—県—州)を統合する計画—実施—モニタリング—評価—計画修正の一連の枠組みのこと</p>	<p>1)の指標 各レベルの行政および住民組織(村・ユニオン・県・州)を統合する計画—実施—モニタリング—評価—計画修正の一連の識字プロジェクトマネジメントが必要に応じて改良されつつ実施されている。</p> <p>2)の指標 -モデル県の初等教育就学率が 2010 年までに 92%以上になる(2003 年 65.7%) -モデル県の成人識字率が 2010 年までに73%以上になる(2003 年 54%)</p> <p>1) 県が、村、ユニオンのニーズを反映した計画を作成し、滞りなく実施した上で、村、ユニオンと協力しモニタリングを実施し、州に定期的に事業報告し、必要に応じて計画の修正が行われている。 2) プロジェクト活動実施により、プロジェクト終了時に以下が対象4県で達成される。 -就学児童生徒数(5-14 歳)が 81,304 人になる -成人識字教育就学者(15-35 歳)が 49,654 人になる(測定値については、プロジェクト開始後に活動1で得られるモデル県のデータを基に CP 機関との協議の上、PDM の改定を行うこととする)</p>	<p>-PEMIS(パンジャブ州教育管理情報システム) -PIHS(パキスタン世帯調査) -プロジェクト開始時に収集されたデータ指標と2008年のDistrict Census Report(予定)の指標</p> <p>-PIHS(パキスタン世帯調査報告) -プロジェクト開始時に収集されたデータ(世帯調査、学校調査による識字調査)とプロジェクト終了までに蓄積されるデータ -プロジェクトによるモニタリング報告書</p>	<p>パンジャブ州政府の識字政策が変化しない。 研修を受けたスタッフがプロジェクト期間中は職を辞さない。</p>

プロジェクトの要約	指標	指標データ入手手段	外部条件
<p>成果</p> <ol style="list-style-type: none"> LitMIS が開発され、モデル4県の識字データベースが完成し更新される。 識字データベースを用いて、ニーズを反映した県の識字事業実施計画が策定される。 事業実施計画に基づき、事業が運営される。 質を確保したモニタリングおよび報告、事業評価が規則的に行われる。 <p>活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 実施体制整備 <ol style="list-style-type: none"> 州識字局が州識字促進委員会(PLPC)および州実施ユニット(PIU)を設置する。 モデル県識字局が県識字促進委員会(DLPC)、および県実施ユニット(DIU)を設置する。 ユニオン議会が DIU と連携して、ユニオン識字促進委員会(ULPC)を設置する。 ULPC が村落識字促進委員会(VLPC)を設置する。 LitMIS 構築およびデータベース完成、更新 <ol style="list-style-type: none"> PIU が LitMIS ソフト(質問票含む)を開発する。 PIU が DIU と連携し、LitMIS データ指導員研修を実施する。 DIU が研修を受けた指導員を通じて ULPC および VLPC に対する研修を実施 	<p>指標</p> <ol style="list-style-type: none"> -2005年3月までに識字データベースが完成する。 -識字データベースが定期的に更新される。 村落およびユニオン・レベルのニーズが県の事業実施計画に反映されるようになる。 -県が妥当性(ニーズと実施可能性)を確保しながら事業を実施している。 -2007年2月までに新たに設置されるノンフォーマル小学校が2,342校になる。 -2007年2月までにノンフォーマル小学校の在籍者数(5-14歳のみ対象)が81,304人になる。 -2007年2月までに新たに設置される成人識字センターが1,804校になる。 -2007年2月までに成人識字センターの修了者の数が53,933人になる。 -県の事業実施および予算執行が滞りなく行われているか 4.-毎月、県が村、ユニオンの参加によりモニタリングを実施しているか。 -毎月、モニタリング報告書がDIUおよびPIUに提出されているか。 -PIUがモデル県で実施している事業に関して、四半期に一度以上事業監査を行っているか。 	<p>指標データ入手手段</p> <ol style="list-style-type: none"> 完成した LitMIS データベース 更新された LitMIS データベース、各村 落、ユニオンおよび県事業実施計画書 プロジェクト四半期報告書、更新された Lit MIS、プロジェクト終了時の調査報告書、 ノンフォーマル小学校および成人識字セ ンターの学簿簿 モニタリング報告書、監査報告書 	

プロジェクトの要約	指標	指標データ入手手段	外部条件
<p>する。</p> <p>1-4. ULPC が VLPC を通じてデータ収集、および取りまとめ(統計データおよびマップング)を行う。</p> <p>1-5. DIU が ULPC のデータの取りまとめ(統計データおよびマップング)を行い、PIU へ報告する。</p> <p>1-6. DIU および PIU が半年に1度、県および州の LitMIS データベースを更新する。</p> <p>1-7. PIU が年に1度、LitMIS データベースを出版する。</p> <p>2. 識字事業実施計画の作成</p> <p>2-1. PIU が LitMIS データベースに基づき、モデル県全体の事業方針、予算を確定する。</p> <p>2-2. PIU が DIU と連携し、識字事業実施計画およびニーズ調査にかかる指導員研修を実施する。</p> <p>2-3. DIU が研修を受けた指導員を通じて ULPC および VLPC に対する事業実施計画策定およびニーズ調査にかかる研修を実施する。</p> <p>2-4. VLPC が各村落事業計画を ULPC に提出する。</p> <p>2-5. ULPC がユニオン識字事業実施計画を取りまとめ、DIU に提出する。</p> <p>2-6. DIU が県の識字事業実施計画を作成し、PIU に提出する。</p> <p>2-7. PLPC がモデル県全体実施計画を確定する。</p> <p>3. 実施計画に基づく事業実施：ノンフォーマル初等教育および成人識字センター</p> <p>3-1. DIU が PIU と連携して実施促進 NGO および VLPC に対して事前研修を行う。</p> <p>3-2. DIU が新規設立のノンフォーマル小学校(2週間)および成人識字センター(3日間)の教員に対する研修を行う。</p> <p>3-3. DIU が必要な学校およびセンター教材、教科書などを配布する。</p> <p>3-4. DIU がノンフォーマル小学校および成人識</p>			

プロジェクトの要約	指標	指標データ入手手段	外部条件
<p>プロジェクトの運営を開始する。</p> <p>3-5. DIUがモニタリング、報告により、進捗管理を行う。</p> <p>3-6. DIUがノンフォーマル小学校の生徒を年に1回、県の行う第5学年修了試験に参加させる/成人識字センターの学習者に半年に1回、学カテストを行うよう促進する。</p> <p>3-7. PIUとDIUが連携して識字キャンペーンを行う。</p> <p>4. モニタリングおよび報告、事業評価</p> <p>4-1. PIUがDIUに対しモニタリング・評価トレーニングを行う。</p> <p>4-2. 実施促進 NGO が、2週間に1回以上、ノンフォーマル小学校、および成人識字センター(新規・既存)の訪問モニタリングを行う。</p> <p>4-3. VLPCがNGOのモニタリングフォーマットを承認しULPCに送付する(月1回)。</p> <p>4-4. ULPCがDIUにフォーマットを送付する(月1回)。</p> <p>4-5. DIUがPIUに対し、月1回取りまとめたモニタリングフォーマットを送付する。</p> <p>4-6. DIUが四半期に1回、PIUは年に1回、事業および会計の監査を行う。</p> <p>4-7. PIU、DIUの構成員が年に2回合同調整委員会に出席する。</p> <p>4-8. PIU、DIUの構成員が年に2回州内で報告会を行う。</p> <p>4-9. PIU、DIUの構成員が年に1回、他州の取り組みを学ぶ研修を行う。</p> <p>4-10. PIU、DIUの構成員がプロジェクト期間に1回、他国の取り組みを学ぶ研修を行う。</p> <p>X. フェーズ2(4):最終プロジェクト評価</p> <p>X-1. 合同調整委員会がプロジェクト終了6ヶ月前に評価を行う。</p> <p>X-2. 合同調整委員会が必要に応じてプロジェクトのフォローアップ措置を検討する。</p>	<p>(投入)</p> <p>(Literacy and NFBE Department, Punjab)</p> <p>事務所(州識字局内)、プロジェクトスタッフ雇用、機材などにかかる免税措置、識字センター、ノンフォーマル小学校運営にかかる費用負担など</p> <p>(JICA)</p> <p>長期専門家1名(プロジェクトアドバイザー)、短期専門家(教育情報管理、教育行政など)、ローカルコンサルタント費用負担、研修(本邦、第三国、パキスタン国内)費用負担、機材供与(コンピュータ機材、車両など)など</p>	<p>前提条件: プロジェクトに必要な人員が確保される。</p>	

注:成果3の指標のうち * で示した数値はオリジナルPDMの作成時に設定された指標であり、1998年世帯調査に基づくPC-1の算定数値である。LitMISデータ構築後の実施計画書に基づく目標数値は()に示した。本調査では()の数値が妥当な目標評価指標となる。

調査用評価グリッド

1. 成果と目標の達成度、活動実施状況の調査項目

	目標	指標 (必要な情報)	達成度の確認事項と、情報の入手手段
上位目標	<p>モデル県において</p> <p>1) 識字プロジェクトマネジメントの枠組みが維持される</p> <p>2) 識字率が州 EPA 計画の数値以上に維持される</p>	<p>1) 各レベルの行政および住民組織 (村・ユニオン・県・州) を統合するプロジェクトマネジメント (計画-実施-モニタリング-評価-計画修正) が必要に応じて改良されつつ実施されている</p> <p>2) モデル県の識字率が 2010 年までに 92% 以上になる (2003 年 65.7%)、モデル県の成人識字率が 2010 年までに 73% 以上になる。(2003 年 54%)</p>	<p>1) 村、ユニオン、県、州の識字プロジェクト実施体制 → 住民のニーズを把握した上で、行政サイドの識字サービスが計画的に行われているかを確認</p> <p>2) モデル県の識字率 (2003 年から現在)、モデル県の成人識字率 (2003 年から現在)</p> <p>【指標データ入手手段】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ PEMIS (パンジャブ州教育管理情報システム) ○ PIHS (パキスタン世帯調査) ○ プロジェクト開始時に収集されたデータ指標
プロジェクト目標	<p>モデル県の識字事業が、プロジェクトで構築される識字プロジェクトマネジメントの枠組み*に基づいて実施される</p> <p>*各レベルの行政および住民組織を統合する計画-実施-モニタリング-評価-計画修正の一連の枠組み</p>	<p>1) 県が村、ユニオンのニーズを反映した計画を作成し、実施したうえで、村、ユニオンと協力しモニタリングを実施し、州に定期的に事業報告し、必要に応じて計画の修正が行われている。</p> <p>2) 構築された枠組みに基づいて事業が行われた結果、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プロジェクト終了時までにモデル4県における非就学児童 (5-14 歳) が*人になる。 ・ プロジェクト終了時までにモデル4県における成人識字者 (15-35 歳) が*人になる。 	<p>1) 村、ユニオン、県、州の識字プロジェクト実施体制</p> <p>2) モデル県の識字者数 (2003 年から現在)、モデル県の成人識字者数 (2003 年から現在) および上記それぞれについて先方政府と合意した目標値</p> <p>【指標データ入手手段】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ PIHS (パキスタン世帯調査報告) ○ プロジェクト開始時に収集されたデータ (世帯調査、学校調査による識字調査) とプロジェクト終了時までに蓄積されるデータ ○ プロジェクトによるモニタリング報告書のレビュー ○ プロジェクト進捗報告書レビュー、州および県プロジェクト関係者へのインタビュー調査
成果 1	<p>LiMIS が開発され、モデル4県の識字データベースが完成し、毎年更新される。</p>	<p>1) 2005 年 3 月までに識字データベースが完成する。</p> <p>2) 毎年、識字データベースが定期的に更新される。</p>	<p>1) 識字データベースの完成時期</p> <p>2) 更新の状況 (実施者、時期、方法) 随時更新、PIU および DIU</p> <p>【指標データ入手手段】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 完成した LiMIS データベースの直接観察 ○ プロジェクト進捗報告書レビュー、州および県プロジェクト関係者へのインタビュー調査
成果 2	<p>識字データベースを用いて、ターゲット住民のニーズが反映された県の識字事業実施計画 (学校やセンターの運営方法 (数、場所、時間、授業内容など) が記載) が策定される。</p>	<p>1) ULPC、ULPC が把握した (村落およびユニオン・レベルの) ニーズが県の事業実施計画に反映されるようになる。</p>	<p>県の識字事業実施計画の確認 (ノンフォーマル学校や成人識字センターの運営方法 (数、場所、時間、授業内容、教員の確保など)</p> <p>【指標データ入手手段】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 更新された LiMIS データベース-各村落、ユニオンおよび県事業実施計画書のレビュー ○ プロジェクト進捗報告書レビュー、州および県プロジェクト関係者へのインタビュー調査

目標	指標 (必要な情報)	達成度の確認事項と、情報の入手手段
事業実施計画に基づき、事業が運営される。	<p>1) 県が妥当性(ニーズと実施可能性)を確保しながら事業を実施している。</p> <p>2) 2007年2月までに新たに設置されるノンフォーマル小学校が3,400校(2,342)*になる。</p> <p>3) 2007年2月までにノンフォーマル小学校の在籍者数(5-14歳のみの対象)が102,000(81,304)*になる。</p> <p>4) 2007年2月までに新たに設置される成人識字センターが11,835(1804)*校になる。</p> <p>5) 2007年2月までに成人識字センターの修了者数が355,050(53,933)*人になる。</p> <p>6) 県の事業実施および予算執行が滞りなく行われている。</p> <p>*注: オリジナルPDMの作成時に設定された指標は1998年世帯調査に基づくPC-1の算定数値。LitMIS データ構築後の実施計画書に基づく目標数値は()に示した。本調査では()を達成度の調査対象とする。</p>	<p>1) 県の事業実施計画の策定方法の確認</p> <p>2) 計画策定以降、2007年2月までに新たに設立されたノンフォーマル小学校の数、2007年3月終了時の見込み数、および先方政府と合意した目標値。</p> <p>3) 2007年2月時点のノンフォーマル小学校在籍者数、2007年3月終了時の見込み数、および先方政府と合意した目標値</p> <p>4) 計画策定以降、2007年3月までに新たに設立された成人識字センターの数、2007年3月終了時の見込み数、および先方政府と合意した目標値</p> <p>5) 2007年3月時点の成人識字センター修了者数、2007年3月終了時の見込み数、および先方政府と合意した目標値</p> <p>6) 県における聞き取り調査による</p> <p>【指標データ入手手段】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ プロジェクト四半期報告書レビュー ○ 更新されたLitMIS、LitMIS Report レビュー ○ プロジェクト終了時の調査報告書レビュー ○ ノンフォーマル小学校/成人識字センター学籍簿 ○ 州および県プロジェクト関係者へのインタビュー
4. 質を確保したモニタリングおよび報告、事業評価が規則的に行われる。	<p>1) 毎月県が村、ユニオンの参加によりモニタリングを実施している。</p> <p>2) 毎月、モニタリング報告書がDIU およびPIUに提出されている。</p> <p>3) PIUがモデル県で実施している事業に関して四半期に一度以上事業監査を行っている。</p>	<p>1) 県によるモニタリング実施状況(県、村、ユニオンにおける聞き取り)</p> <p>2) モニタリング報告書の提出状況(時期および内容、州における聞き取り)</p> <p>3) 州のモニタリング実施状況(県、州への聞き取り)</p> <p>【指標データ入手手段】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ モニタリング報告書、○ 監査報告書、○ 県、ユニオン、村関係者インタビュー ○ プロジェクト進捗報告書レビュー、州および県プロジェクトユニット関係者へのインタビュー調査

(活動実績の調査)

No.	活動	確認事項	情報の入手手段
I-1	PIUがLitMISソフトを開発する。	ソフト開発、使用状況	進捗報告書他資料レビュー、州プロジェクト実施ユニットのインタビュー、直接観察
I-2	PIUがDIUと連携し、LitMIS データ指導員研修を実施する。	研修時期、内容、人数、場所、費用	進捗報告書他資料レビュー、州プロジェクト実施ユニットのインタビュー
I-3	DIUが研修を受けた指導員を通じてULPC(ユニオン識字促進委員会)およびVLPC(村落識字促進委員会)に対する研修を実施する。	研修時期、内容、人数、場所、費用	同上
I-4	ULPCを通じてデータ収集(世帯調査と学校調査)、および取りまとめ(統計データ整理およびマッピング)を行う。	データ収集およびとりまとめ状況	進捗報告書他資料レビュー、県プロジェクト実施ユニットへのインタビュー、直接観察
I-5	DIUがULPCのデータの取りまとめ(統計データおよびマッピング)を行い、PIUへ報告する。	報告回数および時期、頻度、報告内容、報告形式	進捗報告書他資料レビュー、州および県プロジェクト実施ユニットのインタビュー

No.	活動	確認事項	情報の入手手段
1-6	DIU および PIU が半年に一度、県および市の LitMIS データベースを更新する。	データベース更新の方法、更新内容、担当者、時期	同上
1-7	PIU が年に一度 LitMIS データベースを出版する。	2005 年以降の出版状況	進捗書報告書他資料レビュー、州プロジェクト実施ユニットのインタビュアー
2-1	PIU が LitMIS データベースに基づきモデル県全般の事業方針、予算を確定する。	20005 年以降の事業方針、予算の確認	進捗書報告書他資料レビュー、州および州プロジェクト実施ユニットのインタビュアー
2-2	PIU が DIU と連携し、識字事業実施計画およびニーズ調査に関する指導員研修を実施する。	研修の内容、回数、回数、時期、場所、対象者、参加者数	同上
2-3	DIU が研修を受けた指導員を通じて ULPC および VLPC に対する事業実施計画策定およびニーズ調査にかかる研修を実施する。	研修の内容、回数、時期、対象者、研修の評価	同上
2-4	VLPC が各村落事業計画を ULPC に提出する。	各村落事業計画に対する ULPC の評価	県プロジェクト実施ユニットのインタビュアー
2-5	ULPC がユニオン識字事業実施計画を取りまとめ、DIU に提出する。	ユニオン識字事業実施計画に対する DIU の評価	同上
2-6	DIU が県の識字事業実施計画を取りまとめ、PIU に提出する。	提出の頻度、県の識字事業実施計画に対する PIU の評価	州および州プロジェクト実施ユニットのインタビュアー
2-7	PLPC がモデル県全体の識字事業実施計画を確定する。	州識字事業実施計画の策定状況、モデル県への到達状況	州および州プロジェクト実施ユニットのインタビュアー、実施計画書
3-1	DIU が実施促進 NGO および VLPC に対して事前研修を行う。	ノンフォーマル小学校および成人識字クラス実施に関する研修の回数、内容、時期、対象者	進捗書報告書他資料レビュー、県プロジェクト実施ユニットのインタビュアー
3-2	DIU が新規設立のノンフォーマル小学校（2 週間）および成人識字センター（3 日間）の教員に対する研修を行う。	研修の内容、回数、対象者、時期、各県における新規設立のクラスの数	進捗書報告書他資料レビュー、県プロジェクト実施ユニットのインタビュアー
3-3	DIU が必要な学校およびセンターへ教材、教科書などを配布する。	配布内容、配布数（各県および各校）	県プロジェクト実施ユニットのインタビュアー、識字教員へのインタビュアー
3-4	DIU がノンフォーマル小学校および成人識字センターの運営を開始する。	2005 年以降の小学校、センターの数の推移、運営状況	進捗書報告書他資料レビュー、県プロジェクト実施ユニットのインタビュアー
3-5	DIU がモニタリング、報告により、進捗管理を行う。	DIU のモニタリング状況、学校、センターからの報告書の提出状況（県および学校、センターからのヒアリング）	進捗書報告書他資料レビュー、県プロジェクト実施ユニットのインタビュアー
3-6	ノンフォーマル小学校は年に一度児童を県で行う第 5 学年修了試験に参加させる／成人識字センターは半年に一度学習者の学力テストを行う。	・修了試験対象者数、受験者数、試験結果 ・成人識字センター対象者数、学力テスト参加者数、テスト結果	進捗書報告書他資料レビュー、県プロジェクト実施ユニットのインタビュアー、識字教員のインタビュアー
3-7	PIU と DIU が連携して識字キャンペーンを行う。	キャンペーン実施時期、回数、内容、実施者、対象者	進捗書報告書他資料レビュー、州および州プロジェクト実施ユニットのインタビュアー

No.	活動	確認事項	情報の入手手段
4-1	PIUがDIUに対し、モニタリング、評価研修を行う。	研修内容、時期、参加者数、回数	同上
4-2	実施促進NGOが2週間に一回以上、ノンフォーマル小学校、および成人識字センターの訪問モニタリングを行う。	NGOのモニタリング実施状況、(報告書、聞き取り)	進捗報告書他資料レビュアー、州および県プロジェクト実施ユニットのインタビュアー
4-3	VLPCがNGOのモニタリングフォーマットを承認し、ULPCに毎月送付する。	報告書提出状況	進捗報告書他資料レビュアー、州および県プロジェクト実施ユニットのインタビュアー
4-4	ULPCがDIUにフォーマットを毎月送付する。	報告書提出状況	同上
4-5	DIUがPIUに対し、月1回とりまとめたモニタリングフォーマットを送付する。	報告書提出状況	同上
4-6	DIUが四半期に1回、PIUは年に1回、事業監査を行う。	事業監査の有無、内容	同上
4-7	PIU、DIUの構成員およびJICAが年に2回JCCを開催する。	JCC開催の有無、内容	同上
4-8	PIU、DIUの構成員が年に2回州内で報告会を行う。	報告会実施の有無、その内容	同上
4-9	PIU、DIUの構成員が年に1回他州の取り組みを学ぶ研修を行う。	他州との意見交換、研修機会の有無	同上
4-10	PIU、DIUの構成員がプロジェクト期間に1回、他国の取り組みを学ぶ研修を行う。	他国での研修の有無	進捗報告書レビュアー

2. 実施プロセスの調査項目

評価項目	設問	情報の入手方法
プロジェクトマネジメント	プロジェクト実施体制の適切性と機能性	進捗報告書他資料レビュアー、州および県プロジェクト実施ユニットのインタビュアー
活動実施	関係者のコミュニケーション状況	同上
オーナーシップ	プロジェクト進捗のモニタリング状況	同上
能力育成のアプローチ	活動内容の計画との相違	同上
	CPのプロジェクトに対するオーナーシップの程度	同上
	能力育成のアプローチの適切性	同上

3. 評価5項目の分析項目

評価基準	設問項目	情報の入手方法・分析方法
妥当性	プロジェクトの対象地域・社会のニーズとの整合性	<ul style="list-style-type: none"> パキスタン「国家教育政策 “National Education Policy”」「教育セクター改革 “Education Sector Reform (ESR)”」, 「万人のための教育 “Education for All”」のレビュアー (文献調査)、バンジャブ州識字局への質問紙表・インタビュー調査
	プロジェクトのパキスタン開発政策との整合性	<ul style="list-style-type: none"> パキスタン「国家教育政策 “National Education Policy”」「教育セクター改革 “Education Sector Reform (ESR)”」・実施計画 2001-2005”」, 「万人のための教育 “Education for All”」・実施計画 2001-2015」のレビュアー、バンジャブ州識字局および日本人専門家への質問紙表・インタビュー調査
	プロジェクトの日本の援助政策との整合性	<ul style="list-style-type: none"> 我が国「対パキスタン国別援助計画 (February 2005)」、JICAの「対パキスタン国別事業実施計画(July 2006)」 および「教育セクタープログラム」のレビュアー

評価基準	設問項目	情報の入手方法・分析方法
	プロジェクト・アプローチ(戦略)の適切性	<ul style="list-style-type: none"> 「初等教育普遍化(UPE)」と「万人のための教育(EFA)」のレビュー 上記妥当性と、後述の有効性の関係性の分析 対象国のニーズとプロジェクト目標達成程度および上位目標達成見込みの分析
	パキスタン類似事業および他ドナー類似事業との連携	<ul style="list-style-type: none"> 「パンジャブ州識字プログラム (LPP) (2004-2008)、連邦政府・国家開発人間委員会 (NCHD/UNDP 支援)の「成人識字・女性エンパワーメントプログラム」、連邦政府教育省の「ノンフォーマル初等/中等教育コミュニティ・スクール・プロジェクト」(2005-2010)、連邦政府の NEF 事業、ADB 天水地域開発プログラム (機能識字コンポーネント) 等、他類似事業レビュー パンジャブ州識字局および日本人専門家への質問紙票・インタビュー調査
有効性	プロジェクト目標の達成状況(計画との相違)	実績と達成度調査でのプロジェクト目標の達成度の分析
	プロジェクト目標達成を可能にする成果の効果	実績と達成度調査での、各成果の詳細な達成状況の分析
効率性	期待された各成果(1~4)の総合的な達成状況 量・質・時期における投入実施の適切性 投入の活用程度	進捗報告書のレビュー、投入・活動実績と成果の達成状況の関係性の分析 進捗報告書のレビュー、直接観察、州および県のプロジェクトコミュニティのインタビュー調査
	達成された成果の費用対効果	州での LitMIS 導入以前の識字事業(資料: Non-Formal Basic Education Community School Program)の、経費と効果に関する資料レビュー
	効率性を促した、あるいは妨げた要因	パンジャブ州識字局、県プロジェクト実施ユニット、日本人専門家へのヒアリング
	上位目標達成へのインパクト	進捗報告書のレビュー、関係者へのヒアリング
インパクト	プロジェクトのパキスタン政策に対するインパクト	プロジェクト目標達成状況と上位目標の達成見込み(有効性)の関係性の分析 プロジェクト目標、上位目標の達成見込み(有効性)と妥当性の分析
	プロジェクトの波及効果	州および県プロジェクト実施ユニットへのインタビュー調査
自立発展性	パキスタン政府の本プロジェクト自立発展性に係る支援政策	妥当性と有効性の分析 パンジャブ州の識字実施計画書(アクションプラン)のレビュー、州および県プロジェクト実施ユニット、日本人専門家のインタビュー調査
	パキスタン側の本プロジェクトの自立発展性確保にかかわる制度的・技術的状况	妥当性と有効性の分析 パンジャブ州の識字実施計画書(アクションプラン)のレビュー、州および県プロジェクト実施ユニット、日本人専門家のインタビュー調査
	プロジェクトで蓄積した技術の持続可能性	パンジャブ州の識字実施計画書(アクションプラン)のレビュー、州および県プロジェクト実施ユニット、日本人専門家へのインタビュー調査
	社会・文化的要因による本プロジェクトの自立発展性の見込み	州および県プロジェクト実施ユニット、日本人専門家へのインタビュー調査

添付資料 3. 投入実績の調査結果 (人材・資機材)

投入実績の調査結果 (人材・資機材)

(1) 人材 (要員配置)

1) 日本人専門家

	氏名	担当分野・業務	派遣期間
1	小出 拓巳	分野：プロジェクト・アドバイザー 1) モデル4県における事業実施の支援と必要な助言の提供。 2) JICA と州識字局との連絡調整。 3) プロジェクト成果の向上、および州識字局の機能強化のための支援活動の実施。	2004年 1月12日 - 2007年 7月14日
2	田中 香	分野：識字局機能向上 1) パンジャブ州識字局の州および県事務所の組織能力の分析・把握。 2) 州識字局で円滑・効果的な識字事業の計画立案と実施が可能となるよう、州識字局の能力育成案の提案。	2007年 1月13日 - 2007年 2月11日

2) カウンターパート職員

	職位	氏名	従事期間
パンジャブ州政府			
1	パンジャブ州識字局・次官	Mr. Abid Saeed Mr. Rai Ijaz Ali Zaigham	- 2006年6月 2006年8月-
2	次官補	Mr. Ghulam Abbas Sargana Mr. Sadiq Hussain Mr. Muhammad Hafiz Janjua	- 2005年11月 2005年12月- 2006年10月 2006年10月-
3	副次官補	Dr. Muhammad Arshad	2002年9月-
DG ハーン県			
4	識字行政官	Dr. Aslam Hayat Durrani Prof. Rashid Ahmad Khan Mazari	- 2006年5月 2006年5月 -
ハーネーワール県			
5	識字行政官	Mr. Rao Mushtaq Ali Mr. Meher Khalid Mahmud Hiraj	- 2005年3月 2005年3月 -
フシャープ県			
6	識字行政官	Mr. Sarfraz Ahmad Chattha	2001年-
マンディーバハーウッドディーン県			
7	識字行政官	Mr. Khizr Hayat Bosal Mr. Riaz Hussain Mr. Muhammad Yousaf Awan Mr. Khizr Hayat Bosal	- 2005年6月 2005年6月- 2006年5月 2006年5月 - 7月 2006年9月 -

出所：州識字局、PLPP-JICA プロジェクトオフィス

3) プロジェクトスタッフ (2006年8月時)

	職名	場所	定員数	配置数
州 レベル				
	プロジェクトダイレクター	州事務所 (識字局)	1	0
	調査員	州事務所 (プロジェクトオフィス)	4	0
	コンピューターオペレーター	州事務所 (プロジェクトオフィス)	5	2
県 レベル				
	県識字官 (DLO)	DG ハーン県	1	0

職名	場所	定員数	配置数
	ハーネーワール県	1	1
	フシャープ県	1	1
	マンデーバハウッデーン県	1	0
県識字官補佐 (DDLO)	DG ハーン県	3	3
	ハーネーワール県	4	2
	フシャープ県	2	2
	マンデーバハウッデーン県	3	2
識字モビライザー	DG ハーン県	12	7
	ハーネーワール県	20	18
	フシャープ県	10	9
	マンデーバハウッデーン県	13	10
コンピューターオペレーター	DG ハーン県	4	4
	ハーネーワール県	5	2
	フシャープ県	3	1
	マンデーバハウッデーン県	4	2
計 (人)		97	66

出所：PLPP-JICA プロジェクトオフィス

4) 実施運営委員会 (Steering Committee) メンバー

州実施運営委員会

No.	職名	担当
1	Minister Literacy & NFBE	議長
2	Secretary Literacy & NFBE	副議長
3	Parliamentary Secretary (Literacy)	メンバー
4	Parliamentary Secretary (Education)	メンバー
5	Chairman Standing Committee Member	メンバー
6	DG Social Welfare	メンバー
7	Project Director PRSP	メンバー
8	Rep. of P&D Department	メンバー
9	Rep. of Finance Department	メンバー
10	Rep. of Education Department Member	メンバー
11	Rep. of NCHD	メンバー
12	Representative of JICA	メンバー
13	Project Director	メンバー/ 書記
14	Ms. Shaheen Attiq-ur-Rehman, Executive Director. BUNYAD	メンバー
15	Mrs. Hamda Tariq, President Women Welfare Society	メンバー
16	Dr. Baela Raza Jami, SUDHAR -- ITA Alliance	メンバー

出所：パンジャブ州識字局・通達 第 SO(P) 5-13/2003 号、2005 年 2 月 22 日

フシャープ県実施運営委員会

No.	職名	担当
1	District Coordinator Officer	議長
2	Zila Nazim or his representative	メンバー
3	Naib Zila Nazim	メンバー
4	All the Tehsil Nazims in the District	メンバー
5	Executive District Office (Literacy)	メンバー/ 書記
6	Executive District Officer (Education)	メンバー
7	Executive District Officer (Community Development)	メンバー
8	Executive District Officer (Revenue)	メンバー
9	Malik Muhammad Farooq, General Secretary NGOs Network, Soon	メンバー

	Valley Naushera District Khushab	
10	Mrs. Salma Pir Zada, Chairperson, Women Welfare Societey, Khushab	メンバー
11	Mr. Muhammad Rafizue Khan Jamali, President, Career Development Organization, Tehsil Noorpur, District Khushab	メンバー
12	One Union Council Nazim from each Tehsil	メンバー

出所: パンジャブ州識字局・通達 第 SO(P) 5-13/2003 号、2005 年 2 月 22 日

ハーネーワール県実施運営委員会

No.	職名	担当
1	District Coordinator Officer	議長
2	Zila Nazim or his representative	メンバー
3	Naib Zila Nazim	メンバー
4	All the Tehsil Nazims in the District	メンバー
5	Executive District Office (Literacy)	メンバー/ 書記
6	Executive District Officer (Education)	メンバー
7	Executive District Officer (Community Development)	メンバー
8	Executive District Officer (Revenue)	メンバー
9	Syed Farakh Raza: STEP Kabirwala Office 262/2, Al-Murtaza Khanewal road Kabirwala	メンバー
10	Syed Muhammad Ali Gardezi: Rachna Kabirwala Kanwar House Ward No.5, St.No.19, House No.150 Kabirwala	メンバー
11	Bimila Iram: Roshan Rahin Organization near Abu Bakar Majid Civil, Khanewal	メンバー
12	One Union Council Nazim from each Tehsil	メンバー

出所: パンジャブ州識字局・通達 第 SO(P) 5-13/2003 号、2005 年 2 月 22 日

マンディーバハーウッドディーン県実施運営委員会

No.	職名	担当
1	District Coordinator Officer	議長
2	Zila Nazim or his representative	メンバー
3	Naib Zila Nazim	メンバー
4	All the Tehsil Nazims in the District	メンバー
5	Executive District Office (Literacy)	メンバー/ 書記
6	Executive District Officer (Education)	メンバー
7	Executive District Officer (Community Development)	メンバー
8	Executive District Officer (Revenue)	メンバー
9	Syed Qamar Abbas, Insan Dost Welfare Society	メンバー
10	Mr. Muhammad Zafar c/o Ms.Hamida Waheed-ud-Din Hina, Development Office, M.B.Din	メンバー
11	Basma Chaudhary c/o Hay-al-Falah Paranwali, M.B.Din	メンバー
12	One Union Council Nazim from each Tehsil	メンバー

出所: パンジャブ州識字局・通達 第 SO(P) 5-13/2003 号、2005 年 2 月 22 日

DG ハーン県実施運営委員会

No.	職名	担当
1	District Coordinator Officer	議長
2	Zila Nazim or his representative	メンバー
3	Naib Zila Nazim	メンバー
4	All the Tehsil Nazims in the District	メンバー
5	Executive District Office (Literacy)	メンバー/ 書記
6	Executive District Officer (Education)	メンバー

7	Executive District Officer (Community Development)	メンバー
8	Executive District Officer (Revenue)	メンバー
9	Gul-e-Fatima NGO	メンバー
10	Mr. Munir Ahmed Khan: President, Tanzeem Al-Falah Taunsa Sharif	メンバー
11	Mr. Muhammad Younas Khatak, General Secretary, Ali Development Organization, Block-R D.G. Khan	メンバー
12	One Union Council Nazim from each Tehsil	メンバー

出所: パンジャブ州識字局・通達 第 SO(P) 5-13/2003 号、2005 年 2 月 22 日

(2) 機材・資材調達

主な調達機材・資材リスト

アイテム名	DG ハーン 県	ハーネー ワール県	フシャー ブ県	マンドイバー ワール ゲイン県	州識字局	アイテム 数計
4WD 車両	1	1	1	1	0	4
100cc パイク	13	20	10	12	1	56
コンピューター	3	4	2	3	0	12
ノートパソコン	1	1	1	1	0	4
プリンター	1	1	1	1	0	4
ジェネレーター	1	1	1	1	1	5
デジタルカメラ	1	1	1	1	0	4
ファックス機	0	0	0	0	2	2
プロジェクター	0	0	0	0	1	1
コピー機	0	0	0	0	1	1
学習キット (NFBE)	0	225	112	0	0	337
学習キット(ALC)	0	420	127	0	0	547

出所: 州識字局、PLPP-JICA プロジェクトオフィス

ノンフォーマル識字小学校(NFBE)・学習キット内容 (1キットあたり)

1.	黒板 (1)
2.	サインボード (1)
3.	教員用椅子 (1)
4.	クラスチャイム 1 (1)
5.	国旗 (1)
6.	登録簿 (1)
7.	教師日誌 (1)
8.	進捗報告書 (1)
9.	チョーク (10 箱)
10.	(座学用の) 敷き布 (1)
11.	教育チャート (4 種)
12.	石版 (10)
13.	(板書の) 書記板 (30)
14.	壁掛け時計 (1)
15.	通学カバン (30)

出所: 州識字局、PLPP-JICA プロジェクトオフィス

成人識字センター(ALC)・学習キット内容(1キットあたり)

1.	黒板 (1)
2.	サインボード (1)
3.	登録簿 (1)

4.	(座学用の) 敷き布 (1)
5.	教育チャート (4 種)
6.	石版 (30)
7.	ノート(30)
8.	通学カバン (30)

出所：州識字局、PLPP-JICA プロジェクトオフィス

	2003			2004			2005			2006			2007									
	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	
3. 識字事業実施計画に基づく学校運営開始																						
3-1. DIUがPIUと連携して実施促進NGOおよびVLPICに対して事前研修を行う。																						
3-2. DIUが新設設立のノンフォーマル小学校(2週間)および成人識字センター(3日間)の教員に対する研修を行う。																						
3-3. DIUが必要な学校およびセンター教材、教科書などを配布する。																						
3-4. DIUがノンフォーマル小学校および成人識字センターの運営を開始する。																						
3-5. DIUがモニタリング、報告により、進捗管理を行う。																						
3-6. DIUが1)ノンフォーマル小学校の生徒を年に1回、県の行う第五学期終了試験に参加させる/2)成人識字センターの学習者の学力テストを半年に1回行う。																						
3-7. PIUとDIUが連携して識字キャンペーンを行う。																						
4. モニタリングおよび報告、事業評価																						
4-1. PIUがDIUに対し、モニタリング・評価トレーニングを行う。																						
4-2. ユニオン・モニターが1ヶ月に1回以上、ノンフォーマル小学校、および成人識字センター(新規・既存)の訪問モニタリングを行う。																						
4-3. VLPICがNGOのモニタリングフォーマットを承認し、VLPICに送付する(月1回)。																						
4-4. VLPICがDIUにフォーマットを送付する(月1回)。																						
4-5. DIUがPIUに対し、月1回取りまとめたモニタリングフォーマットを送付する。																						
4-6. DIUが四半期に1回、PIUは年に1回、事業および会計の監査を行う。																						
4-7. PIU、DIUの構成員が年に2回合同調整委員会を行う。																						
4-8. PIUおよびDIUの構成員が年に2回州内で報告会を行う。																						
4-9. PIUおよびDIUの構成員が年に1回、他州の取り組みを学ぶ研修を行う。																						
4-10. PIU、DIUの構成員がプロジェクト期間中に1回、他国の取り組みを学ぶ研修を行う。																						
X. 最終プロジェクト評価																						
X-1. 合同調整委員会がプロジェクト終了3ヶ月前に評価を行う。																						
X-2. 合同調整委員会が必要に応じてプロジェクトのフォローアップ計画を検討する。																						

活動実績の調査結果

	活動	指標/確認事項	達成状況 (調査結果)
I-1	PIU が LitMIS ソフトを開発する	ソフト開発、使用状況	<ul style="list-style-type: none"> ● 全世帯調査および学校調査を実施 (約 100 万世帯) ● 州実施ユニット (PIU) は調査項目を含む LitMIS ソフトを開発済み。2004 年 5 月入力コンポーネント稼動。2004 年 9 月集計コンポーネント稼動。マネジメント・コンポーネント 2005 年 12 月開発済み。
I-2	PIU が DIU と連携し、LitMIS データ指導員研修を実施する	研修時期、内容、人数、場所	<ul style="list-style-type: none"> ● 2004 年 4 月、データ指導員約 20 人を対象、州マネジメント・プロフェッショナル開発局 (ラホール)、経費約 Rs50,000 ● 2005 年 1 月、データ指導員約 15 人を対象、プロジェクト外部事務所 (ラホール)、経費約 Rs50,000
I-3	DIU が研修を受けた指導員を通じて ULPC(ユニオン識字促進委員会)および VLPC(村落識字促進委員会)に対する研修を実施する	研修時期、内容、人数、場所	<ul style="list-style-type: none"> ● 第 1 回目の研修は 2004 年 4 月～5 月、データ指導員 (Master Trainer) による LitMIS データベース化調査前研修を実施。28 のユニットカウンセラー (UC) の、各カウンセラーから 20 名を対象として実施。各カウンセラーにて開催。経費は県政府負担。 ● 第 2 回目の研修は、2005 年 1 月～データ指導員による調査前研修を実施。247 のユニオンカウンセラーの各カウンセラー 20 名を対象として実施。各 UC にて開催、経費は県政府負担。 ■ ULPC および VLPC は発足せず。(変更理由の確認: 行政手続き上 ULPC および VLPC の発足が困難であるため)
I-4	ULPC が VLPC を通じてデータ収集 (世帯調査と学校調査) および取りまとめ (統計データ整理およびマッピング) を行う	データ収集および取りまとめ状況	<ul style="list-style-type: none"> ● データ収集: 2005 年 3 月までに完了、データ入力: 2005 年 10 月までに完了 ■ 実施は、DIU がユニオン・レベルの調査チーム (教師、NGO、ボランティアなど、UC ごと各 20 名) を通じて行った。(変更理由の確認: 行政手続き上 ULPC および VLPC の発足が困難であるため DIU が直接実施。なおデータ入力作業は DIU のほか PIU がサポートを行った)
I-5	DIU が ULPC のデータの取りまとめ (統計データおよびマッピング) を行い、PIU へ報告する。	報告回数および時期、頻度、報告内容、報告形式	<ul style="list-style-type: none"> ● 各ユニオンでの調査終了後、取りまとめられた調査票はただちに DIU に送付された。 ● マッピング (フィールド調査後配布済み地区へ記入されたもの) も同様に DIU に送付され、さらにデジタル化のため PIU へ送付された。 ■ ULPC ではなく、DIU がユニオン・レベルのデータのとりまとめを行った。(変更理由の確認: 行政手続き上 ULPC および VLPC の発足が困難であるため DIU が直接実施)
I-6	DIU および PIU が半年に一度、県および州の LitMIS データベースを更新する	データベース更新の方法、更新内容、時期	<p>(1) LitMIS ソフトウェアのアップデート ソフトウェアの開発とアップデート (改善) は州のプロジェクトオフィスが主に担当している。2005 年に最初の開発とデータ入力終了して以来、必要に応じて内容の改善と修正を継続している。</p> <p>(2) LitMIS データのアップデート 識字モビライザーを中心としたモニタリング実施の報告結果によりデータが更新される。各持ち場内の全ノンフォーマル小学校 (NFBE) と成人識字センター (ALC) をカバーするほか、住民の移動等の情報を収集し、これを各県の LitMIS データにアップデートしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 世帯調査を含む非識字人口の大規模調査は、2008 年のセンサス実施にあわせて実施する予定である。
I-7	PIU が年に一度 LitMIS データベースを出版する	2005 年以降の出版状況	<ul style="list-style-type: none"> ● 第 1 回 LitMIS レポート: 2005 年 2 月に発行。 ● 第 2 回 LitMIS レポート: 2006 年 2 月に発行。 ● 第 3 回 LitMIS レポート: 2007 年 2 月に発行。 ● PDF を主とし、紙版の印刷は必要に応じてそのつど PIU にて実施。配布先は州政府および県政府など。

達成状況(調査結果)		指標/確認事項	活動																								
2-1	<p>(1) 事業計画進捗</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 2005年度は2006年3月に一部のノンフォーマル小学校(NFBE)、成人識字センター(ALC)を設立 ● 2006年10月に州識字局が正式の計画用フォーマットを決定 ● 2007年2月、州識字局の指導により県識字行政官(EDO)が計画用フォーマットに基づいて計画を策定。 <p>(2) 事業予算策定(単価:百万Rs)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>県</th> <th>2005年実績</th> <th>2006年実績</th> <th>2007年予算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>DGハーン県(DG Khan)</td> <td>10.83525</td> <td>13.488</td> <td>22.904</td> </tr> <tr> <td>ハーネーワール県(Khanewal)</td> <td>21.67050</td> <td>14.237</td> <td>24.079</td> </tr> <tr> <td>フシヤーブ県(Khushab)</td> <td>10.83525</td> <td>5.297</td> <td>8.996</td> </tr> <tr> <td>マダニハークワッティーン県(MB Din)</td> <td>10.83525</td> <td>5.698</td> <td>9.675</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>54.17625</td> <td>38.720</td> <td>65.654</td> </tr> </tbody> </table> <p>出所: パンジャブ州識字局</p>	県	2005年実績	2006年実績	2007年予算	DGハーン県(DG Khan)	10.83525	13.488	22.904	ハーネーワール県(Khanewal)	21.67050	14.237	24.079	フシヤーブ県(Khushab)	10.83525	5.297	8.996	マダニハークワッティーン県(MB Din)	10.83525	5.698	9.675	計	54.17625	38.720	65.654	<p>2005年以降の事業方針、予算の確認</p>	<p>PIUがLitMISデータベースに基づき、モデル県全般の事業方針、予算を確定する。</p>
県	2005年実績	2006年実績	2007年予算																								
DGハーン県(DG Khan)	10.83525	13.488	22.904																								
ハーネーワール県(Khanewal)	21.67050	14.237	24.079																								
フシヤーブ県(Khushab)	10.83525	5.297	8.996																								
マダニハークワッティーン県(MB Din)	10.83525	5.698	9.675																								
計	54.17625	38.720	65.654																								
2-2	<ul style="list-style-type: none"> ● 2005年1月、プロジェクト外部事務所(ラホール)。県識字行政官(EDO)3名を対象。マッピング活用による学校配置計画策定セミナー、および県識字行政官(EDO)の意識改革のための研修。 ● 2005年9月、プロジェクト外部事務所(ラホール)。州識字局および県識字行政官(EDO)計9名を対象。データのシェアリングと学校配置計画策定のフォローアップ。 ● 2006年2月、州マネジメント・プロジェクト・ブローフェッショナル開発局(ラホール)。州採用のプロジェクト要員、県識字官(DLO)、県識字官補佐(DDLO)、識字モビライザー(LM)、コンピューターオペレーター(CO)の計91名を対象。プロジェクトおよび識字事業に関する新人研修。マダニハークワッティーン県は人員採用がなかったため不参加。 ● 2006年11月、州識字局。決定された計画用フォーマットにかかるセミナー。EDO4名、DLO2名対象。 ● 2007年1月、プロジェクト外部事務所。EDO4名、DLO2名対象。計画用フォーマットにかかるセミナー(2回目)。 	<p>研修の内容、回数、時期、場所、対象者、参加者数</p>	<p>PIUがDIUと連携し、識字事業実施計画およびニーズ調査に関する指導員研修を実施する。</p>																								
2-3	<p>■ 研修実績なし: ULPCおよびVLPCは未充足であり、DIUが直接ニーズ調査の実施を行うため。</p>	<p>研修の内容、回数、時期、対象者、研修の評価</p>	<p>DIUが研修を受けた指導員を通じてULPCおよびVLPCに対する事業実施計画策定およびニーズ調査にかかる研修を実施する。</p>																								
2-4	<p>■ 計画書提出の実績なし: 行政手続き上ULPCとVLPCは発足していないため。村落ごとのマイクロ・プランニングはDIUが行った。</p>	<p>各村落事業計画に対するULPCの評価</p>	<p>VLPCが各村落事業計画をULPCに提出する。</p>																								
2-5	<p>■ 各カウンシルレベルの実施計画書(Union Literacy Action Plan)を識字モビライザーが策定し、その内容をもとに県の実施計画書が作成される。識字促進事業プロセスの全過程では、ユニオン・カウンシル長(Nazim)とカウンシル職員も参画しており、データ収集、識字小学校と成人識字センターのスーパービジョンのみならず識字教員とファミリードスタップを支援して学校とセンターおよび地域のニーズへの対応を助けるとともに、将来計画の作成を後押しする。当初予定していたULPCはユニオン・カウンシルが、VLPCは村落教育委員会(VEC)がその役割を担っていると言える。</p>	<p>ユニオン識字事業実施計画書の準備状況</p>	<p>ULPCがユニオン識字事業実施計画を取りまとめ、DIUに提出する。</p>																								
2-6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1フェーズのアクシヨンプランは悉皆世帯調査とLitMISデータベース構築後に作成された。 ・ 第2フェーズのアクシヨンプラン策定のために、2006年11月~2007年1月にかけてプロジェクト(州識字局およびJICA 専門家)により計画用フォーマット(1A, 1B)が各県に配布された。識字事業ニーズ実態調査結果に基づいて、各県は同フォーマットによる識字事業実施計画(アクシヨンプラン)を作成し州識字局へ提出された。 	<p>提出の頻度、県の識字事業実施計画に対するPIUの評価</p>	<p>DIUが県の識字事業実施計画を取りまとめ、PIUに提出する。</p>																								
2-7	<p>■ 上記各県の識字実施計画が州識字局の各県のレビューを得て承認され、州全体の計画としてアクシヨンプランが同形式のフォーマット4に取りまとめられた。</p>	<p>州の識字事業実施計画の策定状況</p>	<p>PLPCがモデル県全体の識字事業実施計画を確定する。</p>																								

	活動	指標/確認事項	達成状況(調査結果)
3-1	DIU が実施促進 NGO および VLPC に対して事前研修を行う。	指標/確認事項 識字クラスに関する研修	達成状況(調査結果) NGO への研修実績なし。また実施促進 NGO については政策上の位置づけが明白でない。 (行政手続上 VLPC は充足していない。)

達成状況 (調査結果)

対象別の識字教員研修実績 (人)

区別	ノンフォーマル識字小学校		成人識字センター	
	実施年月日	研修生数	実施年月日	研修生数
DG ハン 県	2006年1月3-17日	男17 女0	2006年1月3-5日	男41 女13
	2006年1月3-17日	男0 女25	2006年1月20-22日	男36 女42
			2006年1月3-5日	男0 女36
			2006年1月3-5日	男12 女0
小計	2007年1月11-25日	男0 女319 361 (17+344)	2007年1月8-10日	男234 女461 875 (323+552)
ハネーワール 県	2005年12月24 - 2006年1月7日	男0 女33	2005年12月24-26日	男27 女25
	2006年3月9-24日	男0 女28	2006年3月4-6日	男45 女88
	2006年3月9-24日	男0 女24	2006年3月4-6日	男0 女32
	2006年3月9-24日	男0 女32	2006年3月4-6日	男0 女31
	2006年6月14-30日	男0 女31	2006年3月4-6日	男0 女24
	2006年6月14-30日	男0 女32	2006年3月11-13日	男33 女0
	2006年6月3-17日	男0 女30		
	2006年6月1-15日	男0 女30		
	2007年1月11-25日	男151 女369 760 (151+609)	2007年1月8-10日	男151 女122 467 (233+234)
	小計	2005年12月27 - 2006年1月10日	男0 女30	2006年12月27-29日
フシャーフ 県	2006年1月17-31日	男31 女0	2006年1月17-19日	男24 女0
	2006年3月6-20日	男23 女0		
	2006年8月16-30日	男0 女43		
	2007年1月11-25日	男186 女117 430 (240+190)	2007年1月8-10日	男63 女56 187 (87+100)
	小計		2006年5月29-31日	男9 女24
マンデー ハハーウィ デー 県			2006年6月1-3日	男0 女50
			2006年6月1-3日	男43 女0
	2007年1月11-25日	男0 女222 222 (0+222)	2007年1月8-10日	男60 女123 309 (112+197)
	小計			
合計		1,773 (408+1,365)		1,838 (755+1,083)
総計		3,611人 (男1,163+女2,448)		

出所：ハンジャブ識字局、PLPP-JICAプロジェクトオフィス

活動

DIU が新規設立のノンフォーマル小学校 (2週間) および成人識字センター (3日間) の教員に対する研修を行う。

指標/確認事項

研修の内容、回数、対象者、時期、各県における新規設立のクラスの数
注：
男 = 男性研修生
女 = 女性研修生
数値は研修修了者数

3-2

達成状況 (調査結果)		指標/確認事項	活動																																								
3-3	<p>● 教員 (JICA 供与分のみ)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>NFBE 教員</th> <th>ALC 教員</th> <th>注</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>DG ハーン県 (DG Khan)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>県予算にて調達</td> </tr> <tr> <td>ハーネーワール県 (Khanawal)</td> <td>225</td> <td>420</td> <td></td> </tr> <tr> <td>フシャープ県 (Khushab)</td> <td>112</td> <td>127</td> <td></td> </tr> <tr> <td>マデ・イ・ハ・ハグディーン県 (MB Din)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>ハーネーワール県分より貸与</td> </tr> </tbody> </table> <p>出所：PLPP-JICA プロジェクトオフィス</p> <p>● 教科書 (パキスタン側供与)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>NFBE 教科書</th> <th>ALC 教科書</th> <th>注</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>DG ハーン県 (DG Khan)</td> <td>N.A</td> <td>N.A</td> <td>供与進行中</td> </tr> <tr> <td>ハーネーワール県 (Khanawal)</td> <td>105,000</td> <td>30,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>フシャープ県 (Khushab)</td> <td>45,000</td> <td>15,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>マデ・イ・ハ・ハグディーン県 (MB Din)</td> <td>15,000</td> <td>60,000</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		NFBE 教員	ALC 教員	注	DG ハーン県 (DG Khan)	0	0	県予算にて調達	ハーネーワール県 (Khanawal)	225	420		フシャープ県 (Khushab)	112	127		マデ・イ・ハ・ハグディーン県 (MB Din)	0	0	ハーネーワール県分より貸与		NFBE 教科書	ALC 教科書	注	DG ハーン県 (DG Khan)	N.A	N.A	供与進行中	ハーネーワール県 (Khanawal)	105,000	30,000		フシャープ県 (Khushab)	45,000	15,000		マデ・イ・ハ・ハグディーン県 (MB Din)	15,000	60,000		<p>● 教員 (JICA 供与分のみ)</p> <p>DG ハーン県 (DG Khan)</p> <p>ハーネーワール県 (Khanawal)</p> <p>フシャープ県 (Khushab)</p> <p>マデ・イ・ハ・ハグディーン県 (MB Din)</p>	<p>● 教科書 (パキスタン側供与)</p> <p>DG ハーン県 (DG Khan)</p> <p>ハーネーワール県 (Khanawal)</p> <p>フシャープ県 (Khushab)</p> <p>マデ・イ・ハ・ハグディーン県 (MB Din)</p>
	NFBE 教員	ALC 教員	注																																								
DG ハーン県 (DG Khan)	0	0	県予算にて調達																																								
ハーネーワール県 (Khanawal)	225	420																																									
フシャープ県 (Khushab)	112	127																																									
マデ・イ・ハ・ハグディーン県 (MB Din)	0	0	ハーネーワール県分より貸与																																								
	NFBE 教科書	ALC 教科書	注																																								
DG ハーン県 (DG Khan)	N.A	N.A	供与進行中																																								
ハーネーワール県 (Khanawal)	105,000	30,000																																									
フシャープ県 (Khushab)	45,000	15,000																																									
マデ・イ・ハ・ハグディーン県 (MB Din)	15,000	60,000																																									
3-4	<p>● 学校センターの開設状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対象県</th> <th colspan="2">既存 Old Centers</th> <th colspan="2">新規 New till Nov 2006</th> </tr> <tr> <th>NFBE</th> <th>ALC</th> <th>NFBE</th> <th>ALC</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>DG ハーン県 (DG Khan)</td> <td>190</td> <td>0</td> <td>40</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>ハーネーワール県 (Khanawal)</td> <td>265</td> <td>0</td> <td>239</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>フシャープ県 (Khushab)</td> <td>200</td> <td>0</td> <td>126</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>マデ・イ・ハ・ハグディーン県 (MB Din)</td> <td>124</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>出所：州識字局</p>	対象県	既存 Old Centers		新規 New till Nov 2006		NFBE	ALC	NFBE	ALC	DG ハーン県 (DG Khan)	190	0	40	44	ハーネーワール県 (Khanawal)	265	0	239	100	フシャープ県 (Khushab)	200	0	126	40	マデ・イ・ハ・ハグディーン県 (MB Din)	124	0	0	0	<p>● 学校センターの開設状況</p> <p>DG ハーン県 (DG Khan)</p> <p>ハーネーワール県 (Khanawal)</p> <p>フシャープ県 (Khushab)</p> <p>マデ・イ・ハ・ハグディーン県 (MB Din)</p>	<p>● 学校センターの開設状況</p> <p>DG ハーン県 (DG Khan)</p> <p>ハーネーワール県 (Khanawal)</p> <p>フシャープ県 (Khushab)</p> <p>マデ・イ・ハ・ハグディーン県 (MB Din)</p>											
対象県	既存 Old Centers		新規 New till Nov 2006																																								
	NFBE	ALC	NFBE	ALC																																							
DG ハーン県 (DG Khan)	190	0	40	44																																							
ハーネーワール県 (Khanawal)	265	0	239	100																																							
フシャープ県 (Khushab)	200	0	126	40																																							
マデ・イ・ハ・ハグディーン県 (MB Din)	124	0	0	0																																							
3-5	<p>● 成果4の調査結果に上述したとおり、県においては識字モビライザーを中心として、DDLO、VEC、NGO がモニタリングを実施し、これら報告が月1回提出されている。(DIUとは個別の役職ではなく、EDO、DLO、DDLO、LM、VEC、CO など県のプロジェクト活動の実施部隊を意味する)</p>	<p>● 2007年2月に成人識字センターの第1回目のサイクル(6ヶ月)が終了。学力テストに代わるものとして</p> <p>● は、識字モビライザーがモニタリングフォームに基づき、学習者の学力について状況を調査し、同フォームに記録している。これは LitMIS データにも記録される。</p> <p>● ノンフォーマル小学校については、サイクル未了のため実施していない。</p>	<p>● 2007年2月に成人識字センターの第1回目のサイクル(6ヶ月)が終了。学力テストに代わるものとして</p> <p>● は、識字モビライザーがモニタリングフォームに基づき、学習者の学力について状況を調査し、同フォームに記録している。これは LitMIS データにも記録される。</p> <p>● ノンフォーマル小学校については、サイクル未了のため実施していない。</p>																																								
3-6	<p>● 世帯調査実施時に調査員 (Data collector) が識字事業の概要レターを配布 (約100万世帯分) した。</p> <p>● プロジェクトの概要と進捗を記載したニュースレターを2005年12月に作成し、関係者に配布した。</p>	<p>● 世帯調査実施時に調査員 (Data collector) が識字事業の概要レターを配布 (約100万世帯分) した。</p> <p>● プロジェクトの概要と進捗を記載したニュースレターを2005年12月に作成し、関係者に配布した。</p>	<p>● 世帯調査実施時に調査員 (Data collector) が識字事業の概要レターを配布 (約100万世帯分) した。</p> <p>● プロジェクトの概要と進捗を記載したニュースレターを2005年12月に作成し、関係者に配布した。</p>																																								
3-7	<p>● 世帯調査実施時に調査員 (Data collector) が識字事業の概要レターを配布 (約100万世帯分) した。</p> <p>● プロジェクトの概要と進捗を記載したニュースレターを2005年12月に作成し、関係者に配布した。</p>	<p>● 世帯調査実施時に調査員 (Data collector) が識字事業の概要レターを配布 (約100万世帯分) した。</p> <p>● プロジェクトの概要と進捗を記載したニュースレターを2005年12月に作成し、関係者に配布した。</p>	<p>● 世帯調査実施時に調査員 (Data collector) が識字事業の概要レターを配布 (約100万世帯分) した。</p> <p>● プロジェクトの概要と進捗を記載したニュースレターを2005年12月に作成し、関係者に配布した。</p>																																								

	活動	指標/確認事項	達成状況(調査結果)
4-1	PTU が DIU に対し、モニタリング、評価研修を行う。	評価研修の内容、時期、参加者数、回数	<ul style="list-style-type: none"> ● 従来のモニタリング活動は LitMIS 導入後に EDO、DLO、DDLO、LM により月 1 回実施されてきた。 ● 新しいモニタリングマニュアルについて 2006 年 9 月、EDO、DLO、DDLO、LM に対するワークショップを実施し、モニタリングマニュアル：NFBE Monitoring Performa, ALC Monitoring Performa に基づく実施方法、活動内容、担当者の役割などについての説明が行われた。マニュアルを活用した評価方法に関しては、内容が未定である。 ● プロジェクトの事業評価活動に関しては、州政府の開発委員会から派遣され Punjab Economic Research Institute (PERI) により、2006 年 12 月に実施された。
4-2	実施促進 NGO が 2 週間に 1 回以上、ノンフォーマル小学校、および成人識字センターの訪問モニタリングを行う。	NGO のモニタリング実施状況(報告書、聞き取り)	<ul style="list-style-type: none"> ● NGO は月に 1、2 回 NFBE と ALC を訪問し、教師と生徒の出席状況など基本情報を収集し、EDO に月一回報告をあげている。この実施には、1 校につき Rs 200 の経費が委託経費として配当されている。 ● PC-I およびアクションプランにおいて NGO のスパーバイザーとしての役割が記載されているが、NGO の報告内容は非常に基本的な情報収集(教員の氏名等情報、学習者の出席など)にとどまる。NGO にどのような機能・役割を求めめるのかについて具体的な活動内容を記載した文書はなく、プロジェクト内の位置づけが不明確である。
4-3	VLPC が NGO のモニタリングフォーマットを承認し ULPC に毎月送付する。	報告書提出状況	<ul style="list-style-type: none"> ● 本活動はなし。(ユニオン識字促進委員会(ULPC)と村落識字促進委員会(VLPC)は実質上設立されている。) ● 本活動はなし。(ユニオン識字促進委員会(ULPC)と村落識字促進委員会(VLPC)は実質上設立されている。)
4-4	ULPC が DIU にフォーマットを毎月送付する。	報告書提出状況	<ul style="list-style-type: none"> ● 本活動はなし。 ● ユニオン識字促進委員会(ULPC)は実質上設立されていない。
4-5	DIU が PIU に対し、月 1 回と 1 年 1 回のモニタリングフォーマットを送付する。	報告書提出状況	<ul style="list-style-type: none"> ● LitMIS 導入後の従来方法によるモニタリング活動は定期的に実施され(主に識字モビライザーによる)、毎月報告書が提出されている。 ● モニタリングマニュアル：NFBE Monitoring Performa, ALC Monitoring Performa は正式フォーラムとして州および県の関係者に配布され、既に活用が始められている。
4-6	DIU が四半期に 1 回会計報告を、PIU は年に 1 回会計監査を行う。	会計監査の有無、内容	<ul style="list-style-type: none"> ● ハキスタン政府内部の(州レベル)会計監査は毎年 1 度行われている。 ● 県レベルについては、県内部における会計報告書が県財務官(EDO for Finance)へ提出されている。 ● 先方政府の会計監査は、先方政府の法規定にもとづき実施されている。
4-7	PIU、DIU の構成員および JICA が年に 2 回 JCC を開催する。	JCC 開催の有無、内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 狭義の JCC は開催されていない。ただし、州県合同の Steering Committee は、2004 年 12 月および 2005 年 2 月に開催。(プロジェクト運営にかかるとの協力要請等)
4-8	PIU、DIU の構成員が年に 2 回州内で報告会を行う。	報告会実施の有無、その内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 報告会(州識字局による県教育行政官 EDO の召集)は年 2 回以上行われている。 ● 2006 年 1 月、州内全県の EDO を対象に LitMIS 普及セミナーを開催。LPP 活動開始。 ● そのほか、州識字大臣の県への訪問という形式で、政治レベルでの意見交換等を行っている。
4-9	PTU、DIU の構成員が年に 1 回他州の取り組みを学ぶ研修を行う。	他州との意見交換、研修の機会の有無	<ul style="list-style-type: none"> ● 2005 年 10 月、ラホールにて National Literacy Seminar を開催。連邦教育次官および連邦、各州教育局担当者、NGO 等、約 60 名が参加。
4-10	PIU、DIU の構成員がプロジェクト期間に 1 回、他国の取り組みを学ぶ研修を行う。	他国での研修の有無	<ol style="list-style-type: none"> 1) 第三国研修(5名) <ul style="list-style-type: none"> ● 2006 年 11 月にタイおよびインドネシアにおけるコミュニティ・ラーニング・センター(CLC)視察を実施。 ● 識字事業の制度化にかかる意識向上、および CLC の実態を研修しモデル県における展開の可能性を検討。その他、UNESCO バンコク事務所との連携強化および両国関連省庁との協力を確認。 2) 本邦でのシンポジウム参加(1名・初代識字局次官が参加) <ul style="list-style-type: none"> ● UNESCO-JICA 主催「万人のための教育と生涯学習推進のためのノンフォーマル教育シンポジウム」に参加。

主なカウンターパート研修／シンポジウム／ワークショップ／セミナー実績

カウンターパート第三国研修

期間	参加者名	職位・所属	目的
2006年 11月3日 - 2006年 12月12日	Mr. Syed Hussain Jahanian Gardezi	パンジャブ州識字・ノンフォーマル教育大臣	-訪問国における識字事業モデルのグッドプラクティスと経験を学ぶ -コミュニティ学習センター(CLC)の視察
	Mr. Rai Ijaz Ali Zaigham	パンジャブ州識字局、次官	
	Mr. Malik Ghulam Muhammad Tiwana	フシャープ県 Zila Nazim	
	Mr. Choudhry Farrukh Altaf	フシャープ県 Zila Nazim	
	Mr. Sarfraz Ahmad Chattha	フシャープ県・識字行政官	

本邦・シンポジウム参加

期間	参加者名	職位・所属	目的
10 Oct.04 - 17 Oct.04	Mr. Abid Saeed	パンジャブ州識字局、次官	UNESCO-JICA 主催 「万人のための教育と生涯学習推進のためのノンフォーマル教育シンポジウム」に参加。

国内研修：対象 4 県カウンターパートへの主な研修・ワークショップ・セミナー

No.	年月日	場所	タイトル・目的	参加者
1	2004年 4月12、13日	マネジメント専門員育成部 (MPDP)、ラホール	マスタートレーナーへの世帯調査方法ワークショップ	県識字行政官 マスタートレーナー コンピューターオペレーター
2	2005年 1月11、12日	JICA-PLPP プロジェクトオフィス、ラホール	マスタートレーナーへの世帯調査と、県識字行政官への LitMIS データを活用した計画立案方法ワークショップ	県識字行政官 マスタートレーナー
3	2005年 9月2日	JICA-PLPP プロジェクトオフィス、ラホール	県識字行政官のための LitMIS 有効活用研修	県識字行政官 コンピューターオペレーター
4	2005年 9月28、29日	Pearl Continental ホテル、ラホール	識字とノンフォーマル初等教育のための全国セミナー：新しい戦略	連邦政府行政官、パンジャブ州政府行政官、Sindh、北西辺境州 (NWFP)、県識字行政官 (モデル県を含む)、人間開発委員会 (NCHD)、国立教育基金 (NEF)、パンジャブ教科書局 (PTB)、州教育養成校 (PITE)、NGOs、ドナー諸機関
5	2006年 1月7日	Pearl Continental ホテル、ラホール	県におけるデータマネジメント情報システムワークショップ	県識字行政官 (パンジャブ州全域の全員)
6	2006年 2月14、16日	高等教育委員会、ラホール	行政官研修	データ調査員 (データ収集員)、県識字官、県識字官補佐、県識字行政官
7	2006年 2月20、21日	マネジメント専門員育成部 (MPDP)、ラホール	行政官研修	識字モビライザー
8	2006年 2月23-25日	マネジメント専門員育成部 (MPDP)、ラホール	行政官研修	コンピューターオペレーター
9	2006年 9月20日	JICA-PLPP プロジェクトオフィス、ラホール	モニタリング・セミナー	県識字行政官、県識字官、県識字官補佐、識字モビライザー、コンピューターオペレーター

出所：JICA-PLPP プロジェクトオフィス、2007年3月

添付資料 7. プロジェクトで作成・準備した主なドキュメント (成果品)

プロジェクトで作成・準備した主なドキュメント (成果品)

No.	名 称	作成年月
1	Survey Performa for Household Survey (世帯調査・調査票)	2004年4月
2	Project Leaflet (Project Summary) (プロジェクト広報小冊子)	2004年4月
3	Survey: User's Guide (世帯調査ガイドライン)	2005年
4	Training Material for Master Training: Training of Master Trainers for Data Collection in Model Districts for Literacy Campaigns to Achieve 100% Literacy in Punjab (マスタートレーナーの研修教材)	2005年1月
5	LitMIS Report (1st Report) (第1号・LitMIS 報告書)	2005年2月
6	Report of the JICA Workshop on Literacy & NFBE (識字・ノンフォーマル初等教育のJICA ワークショップ報告書)	2005年9月
7	Kit for the Workshop on Literacy & NFBE (識字・ノンフォーマル初等教育ワークショップ用キット)	2005年9月
8	Newsletter of PLPP, 1 st newsletter (プロジェクトニュースレター第1号)	2005年12月
9	Literacy project planning maps (識字事業計画マップ)	2006年
10	Literacy Planning Format by LitMIS (1-A, 1-B) (LitMIS データを活用した識字事業計画様式: フォーム 1-A, 1-B)	
11	LitMIS Report (2nd Report) (第2号・LitMIS 報告書)	2006年2月
12	Compendium (Report) on the Officers Training (プロジェクトスタッフ研修報告書)	2006年2月
13	Technical Document for LitMIS Software: Project Monitoring & Execution (LitMIS ソフトウェア活用のテクニカルブック: 事業モニタリングと実施の方法)	2006年4月
14	Teachers Manual by NFB (ノンフォーマル小学校識字教員指導要綱)	
15	Textbooks for ALCs: Bright Path (成人識字センター教科書 「明るい未来」)	2006年
16	Educational Material File (ALCs) (成人識字センター教材)	2006年
17	Textbooks for ALCs: Basic Grammar (成人識字センター教科書: 基礎文法)	2006年
18	ALC Monitoring Performa: User's Guide (成人識字センターモニタリングマニュアル: ユーザーガイド)	2006年9月
19	NFBE Monitoring Performa: User's Guide (ノンフォーマル識字小学校モニタリングマニュアル: ユーザーガイド)	2006年9月
20	Report of Study Tour To Thailand & Indonesia (第三国研修報告書)	2006年12月
21	School bag for NFEB pupils (ノンフォーマル識字小学校通学カバン)	
22	Resource Book (プロジェクトスタッフ研修資料: リソースブック)	
23	Report on Teachers Training under Model District Literacy Project, Khushab (フシャープ県識字教員研修報告書)	2007年1月 2007年9月
24	LitMIS Report (3rd Report) (第3号・LitMIS 報告書)	2007年2月
25	Report on Teacher training for Adult Literacy Centres and NFBE Schools (Phase -1) 'Model District for Literacy Campaigns to Achieve 100% Literacy' by District Government, Dera Ghazi Khan (D.G.ハーン県識字教員研修報告書)	2007年3月
26	Certificate of NFBE / ALC (ノンフォーマル識字小学校/成人識字センター修了証明書)	2007年1月

出所: PLPP-JICA プロジェクトオフィス

目標・成果達成度の調査結果

上位目標	目標	指標	達成状況 (調査結果)																		
<p>モデル県において 1) 識字プロジェクトマネジメント(計画・実施・モニタリング)の枠組みが維持される 2) 識字率が州 EFA 計画の数値以上に維持される</p>	<p>1) 各レベルの行政および住民組織(村・ユニオン・県・州)を統合するプロジェクトマネジメント(計画-実施-モニタリング)が必要に応じて改良されつつ実施されている 2) モデル県の識字率が 2010 年までに 92%以上になる(2003 年 65.7%) モデル県の成人識字率が 2010 年までに 73%以上になる。(2003 年 54%)</p>	<p>1) 村、ユニオン、県、州の識字プロジェクト実施体制行政とコミュニティの両レベルにおいて、計画されたとおりプロジェクトが運営されている(計画・実施・モニタリング)。運営実施プロセスについては、パンジャブ州政府と県により、アクションプランと LitMIS 識字データにもとづき修正される必要がある。 2) モデル県の就学率(2003 年から現在まで)について、アクションプラン実施後には 94%の達成が見込まれる。モデル県の成人識字率(2003 年から現在まで)については、アクションプラン実施後には 92%の達成が見込まれる。</p>	<table border="1" data-bbox="518 268 614 1232"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">5-14 歳</th> <th colspan="2">15-35 歳</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2010 年予測</th> <th>残りターゲット数</th> <th>2010 年予測</th> <th>残りターゲット数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4 県計(人)</td> <td></td> <td>1,778,643</td> <td>91,483</td> <td>1,950,498</td> <td>140,308</td> </tr> </tbody> </table> <p>出所：識字局 注：予測数は、1998 年のセンサス人口に対して人口増加率 1,077 の累積で見積もり</p> <p>【指標データ入手手段】 ○ PEMIS (パンジャブ州教育管理情報システム) ○ PIHS (パキスタン世帯調査) ○ プロジェクト開始時(2003 年)に収集されたデータ指標 ○ パンジャブ州政府のアクションプラン ○ 「万人のための教育 EFA (Education for All) 2015」</p>			5-14 歳		15-35 歳				2010 年予測	残りターゲット数	2010 年予測	残りターゲット数	4 県計(人)		1,778,643	91,483	1,950,498	140,308
		5-14 歳		15-35 歳																	
		2010 年予測	残りターゲット数	2010 年予測	残りターゲット数																
4 県計(人)		1,778,643	91,483	1,950,498	140,308																
<p>モデル県の識字事業が、プロジェクトで構築される識字プロジェクトマネジメントの枠組み*に基づいて実施される *各レベルの行政および住民組織を統合する計画-評価-モニタリング-評価-計画修正の一連の枠組み</p>	<p>1) 県が村、ユニオンのニーズを反映した計画を作成し、実施したうえで、村、ユニオンと協力しモニタリングを実施し、州に定期的に事業報告し、必要に応じて計画の修正が行われている。 2) 構築された枠組みに基づいて事業が行われた結果、プロジェクト終了時までにモデル 4 県における非就学児童(5-14 歳)が*人における成人識字者(15-35 歳)が*人になる。</p>	<p>1) 県が村、ユニオン、県、州の段階的な識字プロジェクトマネジメント(計画-実施-モニタリング)が適切に導入されたが、これは着手されたばかりである。今後は、このマネジメント体制が必要に応じて修正される必要がある。言及の段階的なプロジェクト実施体制の維持、体制の強化については、今後も継続的に行われる予定である。 2) PDM の評価指標が適切ではなく、ターゲットはパンジャブ州アクションプランに記載されたものに變更される必要がある。アクションプランによれば、2007 年 3 月までに成人識字センター 1,594 校の 47,889 人、およびノンフォーマル小学校 2,859 校の 100,479 人が見込まれている。</p>	<p>【指標データ入手手段】 ○ PEMIS (パンジャブ州教育管理情報システム) ○ プロジェクト開始時に収集されたデータ(世帯調査、学校調査による識字調査)とプロジェクト終了時に蓄積されるデータ ○ プロジェクトによるモニタリング報告書</p>																		

成果	成果	指標/確認事項	達成状況 (調査結果)
成果 1	<p>1. LitMIS が開発され、モデル4県の識字データベースが完成し、毎年更新される。</p>	<p>1) 2005年3月までに識字データベースが完成する。</p> <p>2) 毎年、識字データベースが定期的に更新される。</p>	<p>1) LitMIS ソフトの開発は2004年12月に完成した。データ収集は世帯調査により実施。収集データの入力は2005年10月に完了。</p> <p>2) LitMIS データの更新は、識字モニターにより隔週に実施されるモニタリング報告結果にもとづき、定期的に実施されている。</p> <p>【指標データ入手手段】</p> <p>○ 完成した LitMIS データベース</p>
成果 2	<p>2. 識字データベースを用いて、ターゲット住民のニーズが反映された県の識字事業実施計画(学校やセンターの運営方法(数、場所、時間、授業内容など)が記載)が策定される。</p>	<p>1) VLPC、ULPC が把握した(村落およびユニオン・レベルの) ニーズが県の事業実施計画(アクシヨンプラン)に反映されるようになる。</p>	<p>段階的(Phase Wise)アクシヨンプランが、パンジャブ州識字局が対象4県との協働により2007年2月に作成完了。同プランの戦略策定は、LitMIS データとその分析結果に基づいて行われたが、アクシヨンプラン策定にあたっては県識字アクシヨンプランが対象各県の行政体制にあわせて策定されてきた。同アクシヨンプランは中央行政から村落レベルまでの協議を経て策定されたものである。</p> <p>【指標データ入手手段】</p> <p>○ 更新された LitMIS データベース</p> <p>○ 段階的アクシヨンプラン (パンジャブ州と対象県)</p>

<p>成果 3</p>	<p>3. 事業実施計画に基づき、事業が運営される。</p>	<p>1) 県が妥当性(ニーズと実施可能性を確保しながら事業を実施している。 2) 2007年2月までに新たに設置されるノンフォーマル小学校が3,400校(2,342)*になる。 3) 2007年2月までにノンフォーマル小学校の在籍者数(5-14歳のみ対象)が102,000(81,304)*人になる。 4) 2007年2月までに新たに設置される成人識字センターが11,835(1,804)*校になる。 5) 2007年2月までに成人識字センターの修了者の数が355,050(53,933)*人になる。 *注:オリジナルPDMの作成時に設定された指標は1998年世帯調査に基づくPC-1の算定数値。LitMISデータ構築後の実施計画書に基づく目標数値は()に示した。本調査では()を達成度の調査対象とする。</p> <p>6) 県の事業実施および予算執行が滞りなく行われている。</p>	<p>1) 段階的アクションプランが、LitMIS データにもとづきパンジャブ州識字局と対象4県との協働により策定された。</p> <p>2)~5) 実施は5段階(Phases)で行われており、アクションプランによると各県でユニオン・カウンシルの20%をカバーする。従って、ノンフォーマル小学校2,859校と成人識字センター1,594校が活動し、それぞれ児童100,479人と成人47,889人が対象となる予定である。プロジェクト開始前の調査で設定したPDMの指標は1998年のセンサスに基づく実際のニーズによらない数値であった。最終的に2007年7月のプロジェクト終了時までには、精度あるLitMIS データに基づく実際の実施計画により、PC-1の目標数値よりも大幅増の学校と児童生徒数が達成されている。成人識字センターと学習者数についても、実際のニーズに基づいた適切な数が達成されている。</p> <table border="1" data-bbox="478 134 702 1176"> <thead> <tr> <th></th> <th>2007年2月達成状況</th> <th>2007年3月実施状況</th> <th>2007年3月達成見込み</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ノンフォーマル小学校(新規)</td> <td>1,547</td> <td>1,312</td> <td>2,859</td> </tr> <tr> <td>児童生徒数(人)</td> <td>54,650</td> <td>45,829</td> <td>100,479</td> </tr> <tr> <td>男女別(人)</td> <td>24,693 / 29,957</td> <td>21,071 / 24,758</td> <td>45,764 / 54,715</td> </tr> <tr> <td>成人識字センター(新規)</td> <td>324</td> <td>1,270</td> <td>1,594</td> </tr> <tr> <td>成人生徒数(人)</td> <td>10,838</td> <td>37,051</td> <td>47,889</td> </tr> <tr> <td>男女別</td> <td>5,025 / 5,813</td> <td>14,948 / 22,103</td> <td>19,973 / 27,916</td> </tr> </tbody> </table> <p>6) 各県では識字事業への財源措置に問題はなく、予算措置については適切に実施されている。後述の活動2-1の調査結果を参照。 【指標データ入手手段】 <input type="radio"/> 更新されたLitMIS <input type="radio"/> 段階的アクションプラン <input type="radio"/> 関係者インタビュ 出所：パンジャブ州識字局</p>		2007年2月達成状況	2007年3月実施状況	2007年3月達成見込み	ノンフォーマル小学校(新規)	1,547	1,312	2,859	児童生徒数(人)	54,650	45,829	100,479	男女別(人)	24,693 / 29,957	21,071 / 24,758	45,764 / 54,715	成人識字センター(新規)	324	1,270	1,594	成人生徒数(人)	10,838	37,051	47,889	男女別	5,025 / 5,813	14,948 / 22,103	19,973 / 27,916
	2007年2月達成状況	2007年3月実施状況	2007年3月達成見込み																												
ノンフォーマル小学校(新規)	1,547	1,312	2,859																												
児童生徒数(人)	54,650	45,829	100,479																												
男女別(人)	24,693 / 29,957	21,071 / 24,758	45,764 / 54,715																												
成人識字センター(新規)	324	1,270	1,594																												
成人生徒数(人)	10,838	37,051	47,889																												
男女別	5,025 / 5,813	14,948 / 22,103	19,973 / 27,916																												

<p>成果 4</p>	<p>4. 質を確保したモニタリングおよび報告、事業評価が規則的に行われる。</p>	<p>1) 毎月、県が村、ユニオンの参加によりモニタリングを実施している。</p>	<p>1) 学校/センター訪問を含むモニタリングの実施はPC-1およびアクションプランに記載されたとおり、識字モビライザーを中心として、複数の担当者により実施されている。EDOは複数の実施者からの報告を受け、活動の進捗の詳細な確認と、実施者の働きの有効性を見る。モニタリング活動実施の関係者と役割の概要は以下のとおりである。</p> <p>①識字モビライザーによるモニタリング：同活動は現在、新しく準備されたモニタリングマニュアルすなわち NFBF Monitoring Performa, ALC Monitoring Performa にもとづき行われている。識字モビライザーはユニオンカウンセラーレベルでのモニタリングを担当する。識字モビライザー1人につき5ユニオンを担当し、月に1回～2回のペースで訪問モニタリングを実施している。(規定としては月1回)</p> <p>②DDLLOによるモニタリング：DDLLOは識字モビライザーの報告を受け、その内容を確認するとともにサブディストリクト(テシール)レベルでの学校/センター訪問を含むモニタリングを実施し、状況を把握する。</p> <p>③村落教育委員会(VEC)によるスーパービジョン：地域レベルの現状把握を行っており、事業の実施状況をスーパーバイズするとともに、学習者の識字教室への通学をモチベートし、教員の授業運営を支援している。</p> <p>④NGOによるスーパービジョン：NGOは政府機関からは独立した組織として学校/センターを訪問し、実施状況を月1～2回程度モニタリングしている。(PC-1に基づき1校につき200ルピーでの実施経費が配当されている。)NGOも学校/センターを訪問し、学校/センターの基本情報についてDLO/EDOに月例報告を上げている。</p> <p>2) 識字モビライザーは担当地域の上記のモニタリング結果についてDDLLOに対して月例報告を上げている。DDLLOはこの内容を現場視察を含めて確認するとともに、県のEDOおよび州レベルへ月例報告書を上げている。</p> <p>3) 監査(Audit of the Project)は州および県の双方で実施されており、内部監査と外部監査の2種がある。内部監査は月ごとに識字局と県政府で実施され、州と対象県の事業実施・予算執行状況等が確認される。外部監査は毎年1回、独立監査機関であるパキスタン監査総局 Audit General of Pakistan により、連邦政府の規定に基づき実施されている。</p>
			<p>【指標データ入手手段】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ モニタリングマニュアル：NFBF Monitoring Performa, ALC Monitoring Performa ○ PC-1 'Model Districts for Literacy Campaigns to Achieve 100% Literacy' ○ アクションプラン (Action Plan: Model Districts for Literacy Campaigns to Achieve 100% Literacy) ○ パンジャブ州政府 (識字局)、県関係者インタビュー

実施プロセスの調査結果

評価項目	設問	調査結果
プロジェクト プロジェクマネジメン	プロジェクト実施体制の適切性と機能性	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクマネジメント体制は PC-1(パキスタン政府による「識字率 100%を目指す識字教育促進のためのモデル県識字事業： Model Districts for Literacy Campaigns to Achieve 100% Literacy Project」(モデル県識字事業 PC-1)のプロジェクトコミュニティ)に基づく。これは実施協議(R/D)の記載事項とは異なるが、運営実施体制は良好に機能している。これは実施協議(R/D)では、年間活動計画の承認およびプロジェクト実施中に発生する問題解決を目的として合同調整委員会(JCC)が年間 2 回開催される予定であったが、同委員会は実施されず、州および県レベルで設置された事業運営委員会(Steering Committee)がそれに代わって開催されている。州運営委員会は州政府代表者で、県レベル運営委員会は県および地域住民の代表者で構成されている。これら委員会は州と県における関係者間の連絡・調整に大きく貢献しているが、他方実施頻度は必要最低限で、これまでに開催された州運営委員会は期間中に 2 回のみである。プロジェクトでは、連邦政府による国家人間開発委員会(NCHD)やノンフォーマル小学校(NFBE)など識字事業を実施する関係機関との連携メカニズムを有していたが、調査によれば活動内容の一部重複が見られた。 識字・ノンフォーマル教育局からは 3 名 (Secretary, Deputy Secretary, and Additional Secretary) の C/P の配置があり、対象各 4 県からは 1 名ずつ県識字行政官(EDO) が配属されている。州では、早期離職のために PC-1 で予定された職員数が得られず、プロジェクトの人材は十分ではない。 県レベルのプロジェクマネジメントについては、県識字行政官の下に、県識字官、識字次官、識字モビライザー、コンピューターオペレーターが配属されている。 何名かの空席があるが、概ね必要人材が配置され適切に担当業務を遂行している。
	関係者のコミュニケーション状況	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクマネジメントにおいては C/P 間でのコミュニケーションに関わる問題は特にならない。連邦政府の識字局や国家人間開発委員会(NCHD)など他機関との連携調整体制はあるが、他の援助組織との情報共有の機会は乏しい。

評価項目	設問	調査結果
	プロジェクト進捗のモニタリング状況	<p>県識字行政官がモニタリング実施状況について、毎月、パンジャブ州識字局に報告書を提出している。</p> <ul style="list-style-type: none"> パンジャブ州識字局職員のサイト訪問のほか、県識字行政官、県識字官補佐、県調整員間で月1回事業進捗レビュー会議を実施している。 県識字ノンフォーマル初等教育局・識字行政官(DLNFBEO)は、識字モビライザー、県識字行政官、県識字行政次官を通して事業活動のモニタリングを行っている。 NGO は外部組織として識字モビライザーとは別途モニタリング活動を実施しており、まず県識字官、県識字行政官、最終的に州識字局へと結果報告をあげている。 村落教育委員会もまた並行してノンフォーマル識字小学校(NFBE)と成人識字センター(ALC)の事業をモニターしており、必要に応じて識字モビライザーとNGOに結果を報告している。 NFBEとALCの開設・授業実施においては、児童生徒の学習レベルについても、モニタリングフォームに基づき注意深く観察されている。 日本側の役割としては、JICAパキスタン事務所における特別会議のほか、日本人専門家が同事務所へ月2回の報告と月例進捗報告書の提出により、事業のモニタリングが行われている。 JICAパキスタン事務所側としては、プロジェクトの詳細レビューや軌道修正の必要性は認められなかったことから、中間評価調査は実施していない。
活動実施	活動内容の計画との相違	<ul style="list-style-type: none"> 識字データベース構築は予定通り完了した(2005年10月に第1段階が終了)。 PDMの活動において幾つか当初計画からの修正があり、すなわちプロジェクトでは県運営委員会に県とユニオンの代表者をメンバーに加えているため、県識字促進委員会(DLPC)とユニオン識字促進委員会(ULPC)の設置は必要がないと判断された。プロジェクトでは(該当活動の)両委員会の設置なしで、プロジェクトの実施体制を整えている。 プロジェクト人材の採用について約1年程度の遅れがあったことから、識字データベースの構築作業と、NFBEおよびALCの新設に遅れをもたらした。ALCの教員採用については当初予定以上の時間を要し、開校時期に影響した。 2006年8月に識字ノンフォーマル初等教育局に新Secretaryが任命され、活動計画策定のためLitMISの体系的な活用が対象4県で標準化された。さらに、これによってノンフォーマル小学校と成人識字教室の設置が促進された。
オーナーシップ	C/Pのプロジェクトに対するオーナーシップの程度	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトはパンジャブ政府事業「識字者100%を目指す識字促進モデル事業(“Project for Model Districts for Literacy Campaigns to Achieve 100% Literacy in Pakistan”）」に基づき、全CPが明確なオーナーシップをもって活動している。 プロジェクト成果の拡充のため、LitMISが導入され識字パンジャブ州事業(LRP)における10県で活用されている。これはパンジャブ州の積極的な事業への取り組み姿勢と、プロジェクトの自立発展性を示すものである。

評価項目	設問	調査結果
能力育成のアプローチ	能力育成のアプローチの適切性	<ul style="list-style-type: none"> • プロジェクト活動の枠組み策定と LitMIS の構築は、州の C/P と日本人専門家の協働により実施された。 • 県識字行政官と県のプロジェクトスタッフを対象に、データ収集と管理技術の研修が実施されている。JICA が手配した州の技術者により、LitMIS 開発とアップデートの技術サポートが行われている。 • 州では LitMIS を扱う人材が不足していることから、プロジェクトから識字ノンフォーマル初等教育局へ LitMIS データを即移転することには未だ問題がある。 • 県においては、JICA が手配した州の技術者の支援を得て、プロジェクトスタッフが LitMIS の活用ができるようになっている。

5 項目評価結果

評価基準	設問項目	調査結果
妥当性	プロジェクトの対象地域・社会のニーズとの整合性	<ul style="list-style-type: none"> • パンジャブ州識字局によれば、同州の 2005 年時の識字率は 56% である。同州はパキスタンでも教育状況が良好な州であるとされることが、農村部が広がり多くの人口を抱える上に開発の遅れた南部地域があるために、識字率は同国の平均値をわずかに上回るに過ぎない。 • プロジェクト対象地の識字率はハーン県で 31.8%、ハーン県で 44.8%、フシャール県で 49.8%、マンディ・バハール県で 56.3% である。これらの数値から、識字状況の改善の必要性は明らかであり、プロジェクト実施の対象地域のニーズとの整合性は明確である。
	プロジェクトのパキスタン開発政策との整合性	<ul style="list-style-type: none"> • パキスタン政府の「国家教育政策 “National Education Policy”」の第 4 章に、識字・ノンフォーマル教育が言及されており、フォーマルおよびノンフォーマルによる初等教育と成人識字事業の拡充への取り組みが明記されている。ノンフォーマル小学校については、正規教育学校に通学できない子どもたちへ提供する教育政策として設置されたものである。これらの取り組みは「教育セクター改革 “Education Sector Reform (ESR)”」実施計画、および「万人のための教育 “Education for All”」実施計画書に明記されている。これらから、本プロジェクトの目的はパキスタンの政策・戦略に合致するものと判断できる。
	プロジェクトの日本の援助政策との整合性	<ul style="list-style-type: none"> • 我が国の「対パキスタン国別援助計画 “Japan’s Country Assistance Program for Pakistan (February 2005)”」、JICA の「対パキスタン国別事業実施計画 “JICA Country Program for Pakistan (July 2006)”」および「教育セクタープログラム」において、初等教育改善のための支援と社会的・経済的な格差を合むあらゆる格差是正への取り組みが優先課題として挙げられており、本プロジェクトの目的との整合性が明確である。本プロジェクトは我が国の開発援助政策とも整合するものである。
	プロジェクト・アプローチ(戦略)の適切性	<ul style="list-style-type: none"> • パキスタンはあらゆる政策レベルにおいて「初等教育普遍化(UPE)」と「万人のための教育(EFA)」実現のためのノンフォーマル教育の導入の必要性を強調している一方で、効果的・効率的なノンフォーマル教育事業の着手に必要となる信頼性ある教育データや人口情報の収集技術の不足が、事業の実施を妨げてきた経緯がある。したがって本プロジェクトのアプローチは、パキスタンのニーズに合致する適切なものであると判断できる。

評価基準	設問項目	調査結果
	パキスタン類似事業および他ドナー類との連携	<ul style="list-style-type: none"> • パンジャブ州ではLitRMSの技術を残り31県に活用する「パンジャブ州識字プログラム Literate Punjab Program: LPP」(2004-2008)を進めており、州識字局内の本プロジェクトとは別の実施部隊が進められている。同プログラムにより本プロジェクトの成果を州内のモデル以外の県への活用が可能であると考えられるため、今後同プログラムとの情報と技術のシェアが期待される。 • 他の実施機関の事業として連邦政府の国家開発人間委員会(NCHD)が UNDP の支援で進める「成人識字・女性エンパワーメントプログラム (Adult Literacy / Gender Empowerment Program)」は、成人女性を対象とした識字事業で、パキスタン全域の草の根レベルで実施されている。フシャール省では同プログラムの関係者と定期会合を持つとともに非識字者に関わる情報交換を行い活動の連携を図るとともに重複がないように配慮されている。 • 連邦政府教育省(Federal Ministry of Education)が実施する「ノンフォーマル初等/中等教育コミュニティ・イ・スクール・プロジェクト (Non-Formal Basic & Middle Education Community Schools Project)」(2005-2010) が挙げられる。同プロジェクトは5～14歳を対象とした事業でありパキスタン全域を対象とするため、今後はパンジャブ州での活動について活発な連携が期待される。 • その他、連邦政府の NEF(National Education Foundation)事業は州内フシャール省でのノンフォーマル小学校事業であるが、同事業は8校を運営し5～13歳の児童を対象とする小規模のもので、活動の重複など問題は特にならない。今後の調整については、同事業が連邦政府事業であることから州行政レベルでの連携が行われることが望ましい。
有効性	プロジェクト目標の達成状況 (計画との相違)	<ul style="list-style-type: none"> • プロジェクト目標は次のとおり設定された：1) 対象県は同県の村落・ユニオンの関係者と協働して、ニーズに基づき実施計画書を策定し州へ定期的に提出する。同計画書は必要に応じて修正される。2) 本プロジェクトの枠組みでの実施結果として、本プロジェクト終了時には以下の成果(アウトカム)が得られ、また今後見込まれる。 • プロジェクトが目指す成果(アウトカム)については、プロジェクト活動による識字調査により構築されたデータベースに基づき策定されたアクションプランの実施状況に合わせ設定され、2007年3月時点で、成人識字センター (ALC) 1,594校の設立と47,889人の成人就学、ノンフォーマル小学校(NFBE) 2,859校の設立と100,479人の児童生徒数の識字教育の達成が見込まれる。プロジェクト終了時の2007年7月には見込み数に比して大きなNFBEと児童生徒数、ニーズに基づく適切なALCと生徒数の達成が見込まれる。 • プロジェクトにおいては、州のアクションプランに基づく識字データベースの構築を行うことで、段階的・実施可能な識字教育ターゲットの設定が可能となった。 • マネジメントサイクル(計画立案、実施、モニタリング)の枠組みが、村落・ユニオン・県・州の各レベルで構築され、現在実施されている。 • 以上の活動成果(アウトカム)によって、プロジェクト目標は終了時までには達成が見込まれる。

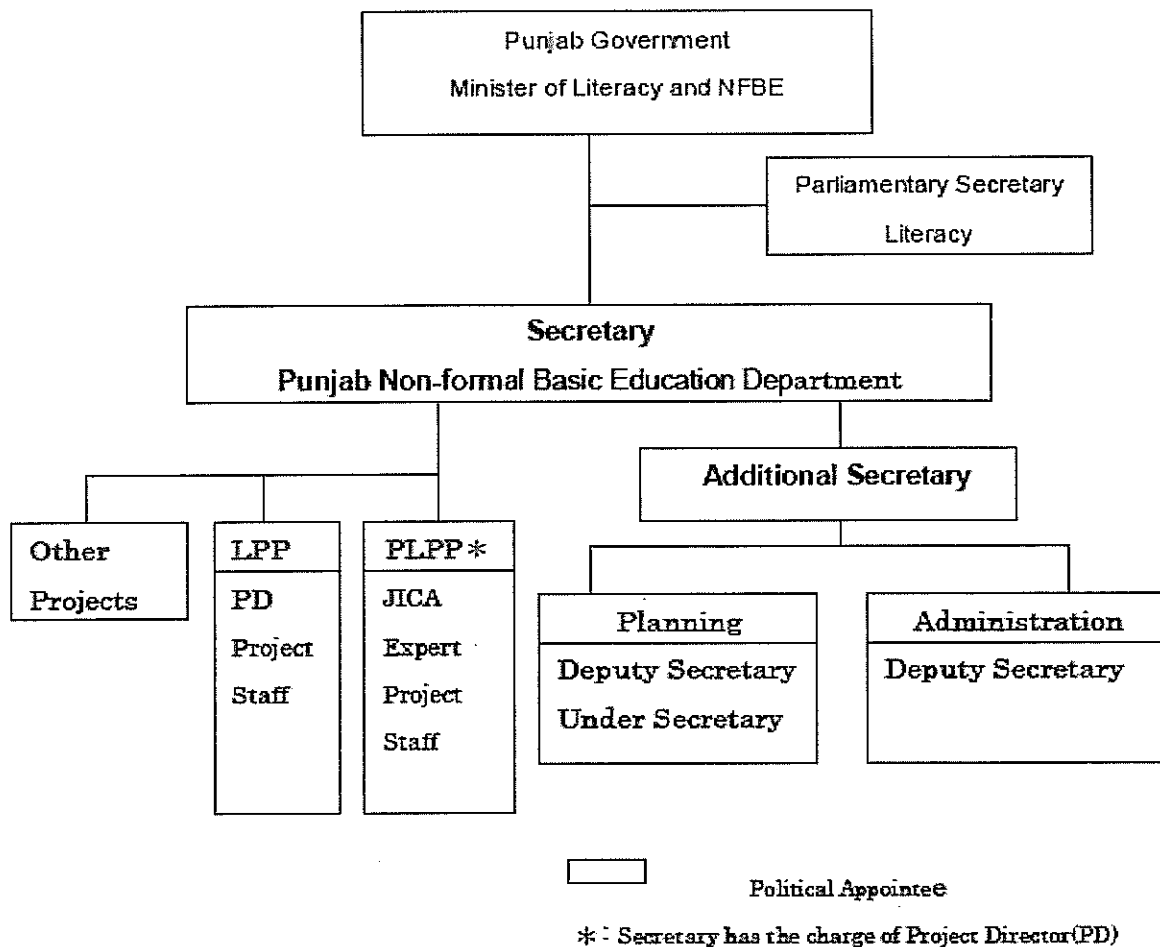
評価基準	設問項目	調査結果
	プロジェクト目標達成を可能にする成果の効果	<ul style="list-style-type: none"> 精度ある識字データが得られたことで州政府のアクションプランが策定され、データに基づくフィードバック的な識字教育ターゲットの設定が可能となった。従って、プロジェクトの成果(アウトカム)はプロジェクト目標達成に資するものと明確に判断できる。 アクションプランは、州・県レベルから村落レベルに至る協議を通じて策定された。同調査活動の結果は、裨益者のニーズに応えるアクションプランの策定を可能とし、このことからプロジェクトの成果(アウトカム)はプロジェクト目標達成を可能にするものと明確に判断できる。 本プロジェクトの事業モニタリングや識字モヒライザーの機能を含む活動は、従来の識字事業に比して格段・的確に対象コミュニティでNFBEおよびALCでの識字教育を必要とする裨益者を選定することができようになった。それによりNFBEとALCの就学者数の伸びが確認された。このことから、プロジェクトの成果(アウトカム)は州政府が目指す識字教育就学者数の確保を確実にしたとともにプロジェクト目標達成に貢献している。
	期待された各成果(Output 1~4)の総合的な達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 当初予定どおり、LitMIS データのソフトウェアが開発されるところにもデータベースが構築された。各県でのLitMISの活用を通してソフトウェアの質の改善も適宜行われている。 データベースに基づき識字学習のニーズ(対象者、対象地、対象数)が明確に把握されたことで、フィージブルな各県のアクションプランおよび包括的な州のアクションプランの作成が可能となった。現在の実績はLitMIS データに基づく計画の実施数値であることから、適切な成果であると判断できる(PDMの成果3に設定された指標数値は1998年のセンサスに基づいて算定したものであった。悉皆世帯調査による実際数の把握により、非識字者数と非就学児童数が見込みよりかなり多い実数であることが判明した。最終的にはNFBEの設立と児童生徒数はPDM指標数値を達成している。ALCと生徒数についても実際のニーズに基づいた適切な数値が達成されている)。また事業のモニタリング実施(成果4)の状況については、NFBEとALCの運営状況を含む事業のモニタリングが複数のアクター(LM, DDLO, VEC, NGO)により定期的に実施されEDOと州へ定期報告がされている。すなわち、成果1~4の総合的な達成状況は極めて良好であると判断される。 他方、幾分の懸案事項としては成果4に関わる事項が挙げられる。モニタリング活動については、LM, DDLO, DLO, EDO, VEC, NGOと多くのアクターが関わるにもかかわらず、現在標準化された実施体制が定められておらず、県の事情と裁量に任されている。今後はモニタリング実施関係者各自の機能と役割を明確にし、活動実施の流れを具体化して効率的な実施体制を構築する必要があり、効果的なスパービジョンとして機能しているとはいえない。今後は広報実施やモチペーターなどスパービジョンやモニタリング以外の役割も視野に入れ、NGOの特性を生かした活動の可能性を検討することが提案される。NGOの人材と経費が効果的・効率的に活用されるように、彼らの機能・役割について州行政レベルで再検討することが提案される。

評価基準	設問項目	調査結果
	<p>投入の効率性： 量・質・時期における投入実施の適切性</p>	<ul style="list-style-type: none"> 日本人長期専門家（プロジェクトアドバイザー）1名、および短期専門家（能力育成）1名が、必要な技術分野について適切な時期に派遣された。 パキスタン側の主要C/Pとして、州識字局の職員が3名（プロジェクトマネージャーを含む）、対象県で各1名の県識字行政官(EDO)が常勤している（交代・離職者を含めばこれまでに計9名）。 在外事業強化費を活用して州と県においてプロジェクトスタッフを雇用したが、概ね必要な時期に適切な人材が備えられた。 2006年11月にC/P5人がノンフォーマル教育分野の第三国研修（タイ国、インドネシア国）に参加し、訪問国での識字学習センター視察と識字事業の経験を共有した。研修生は研修で習得された知識・技術について、州の包括的識字事業開発作業に活用している。 2004年10月にC/P1人が本邦での「UNESCO-JICA国際シンポジウム：万人のための教育と生涯学習促進のためのノンフォーマル教育」に参加した。 必要な機材が適切な時期に調達され、円滑な活動実施のために活用された。
効率性	<p>投入の活用程度</p> <p>達成された成果の費用対効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトで調達された機材はすべて適切に活用されている。同機材の維持管理経費についても措置されている。 効率性については幾分かの問題もあったが、全体として投入資源（人材・機材・経費など）はプロジェクト目標達成のために適切に活用された。 <p>LiMIS導入後に、パンジャブ州の識字事業計画立案方法が大幅に効率化され、効果的な事業の実施を可能とした点で、プロジェクト投資が生み出した効果は非常に大きなものがある。州でのLiMIS導入以前の識字事業では、識字教室のサイト選定に約Rs.1,500を当てていたが（資料：Non-Formal Basic Education Community School Program）、識字人口と学校/センターを設置すべき場所の選定は信頼性の低いランダムな情報に基づいていたため、経費を多く措置しながらも計画の適切性、実施の効果は低かった。他方、LiMIS導入によりサイト選定は信頼性あるデータに基づいて行われるため格段に円滑化されたとともに、ニーズを持つ非識字者の実数数を明らかにすることができた（この数値は1998年のセンサスに基づく予測数よりも大幅に多いものであった）。本プロジェクトでは、選定に必要な経費は1ユニオン・カウンスルにつき約Rs.7,500で、1ユニオン・カウンスルが30校/センターの設置を行うと見積もった場合1校/センターの選定経費はRs.250以下で、従来の事業実施の成果・効果を考慮すれば、コストパフォーマンスの差は明らかである。</p> <p>LiMISソフトウェアの初期開発にはある程度の経費が必要となるが、継続的に活用できるデータベースとして長期的に活用が可能であること、パキスタンの他県・他地域での類似事業への活用の可能性を鑑みれば、成果および効果に対する実施経費は適切であると判断される。</p> <ul style="list-style-type: none"> パキスタン側のプロジェクトスタッフ雇用が予定よりも遅れたため、活動進捗に幾分影響した。 州政府から県自治体への通達の遅れがあり、プロジェクト実施の効率性に影響した。 州と県におけるC/Pの配置転換が、プロジェクト実施の効率性に影響した。

評価基準	設問項目	調査結果
	上位目標達成へのインパクト	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトによる上位目標の達成見込みは高い。上述のプロジェクトの成果(アウトカム)を確認したとおり、識字教育を必要とする対象者数は当初見込み数の倍数が確認された。他方、多様な非識字人口を抱え、州政府は1) 非識字者が分散する地域(一定域内で非識字人口が小学校やセンター設置に満たない地域)への対応、2) 女性教師の配置ができない地域への対応、3) 女性・女子の非識字者に関わる社会・文化的問題への対応、の課題に直面している。こうした中、全非識字者を対象とするためには柔軟かつ包括的なアプローチが必要であることを州政府も認識し始めており、州政府がこれらへの対策を講じるならば、ニーズに応じた識字教育事業の実施と上位目標の達成が可能となるであろう。
インパクト	プロジェクトのパキスタンの政策に対するインパクト プロジェクトの波及効果	<ul style="list-style-type: none"> 州政府の事業計画立案と政策策定への効果は非常に大きい。プロジェクトの効果は明確であり、全州のノンフォーマル・初等教育事業計画の策定に影響を及ぼした。 本プロジェクト枠外の31県のユニオン10%の事業についても、本プロジェクトの同様の事業マネジメントサイクル方法が導入された。 本プロジェクトの悉皆世帯調査にもとづくLiMIS データが、それまで殆ど情報を得られていなかった遠隔農村部のデータも含み、人口情報と地図情報は県の地域情報の把握に役立つと言うことから、フシヤープ県では県行政が情報の活用意向を示しており、同情報の識字教育事業以外への活用の可能性が検討されている。 社会生活・教育アクセスの男女格差が激しい辺境地や農村部では、本事業を通して女性が教育を受けられる機会が生まれた。それにより、女性が教育を受けることに對する肯定的な意識変化が生まれている。こうした地域では女性が家の外で働く習慣もないため、本プロジェクトで女性の識字教員や識字モビライザーを雇ったことも、地域コミュニティに女性の就労機会と可能性に対する意識変化を促進している。これらは社会的・心理的側面におけるポジティブインパクトであると判断できる。
	パキスタン政府の本プロジェクトの自立発展性にかかわる支援政策	<ul style="list-style-type: none"> 調査の結果、パキスタン政府の全レベル(州・県・ユニオン)および村落レベルにまで至るプロジェクト関係者の、高いオーナーシップと積極的な取り組みが認められたとともに、州政府の支援はプロジェクトの持続性を推し進める要因となっており、これが確認された。 ニーズに応じた包括的な事業計画が州政府により既に策定されている。 既に計画開発局により承認された事業もあることから、事業実施に必要な財源も確保されるものとある程度認められる。 包括的プログラムの一部をなす他事業についても計画が進行中である。
自立発展性	パキスタン側の本プロジェクトの自立発展性確保にかかわる制度的・技術的状況	<ul style="list-style-type: none"> 調査の結果、州政府の組織化・制度化の調整能力は脆弱であり、これがプロジェクトの自立発展性の障害となると危惧される。 州・県双方において、分析技術・計画立案能力について十分とは言えず、プロジェクトの自立発展性確保のためにはこの点について能力向上を図る必要がある。

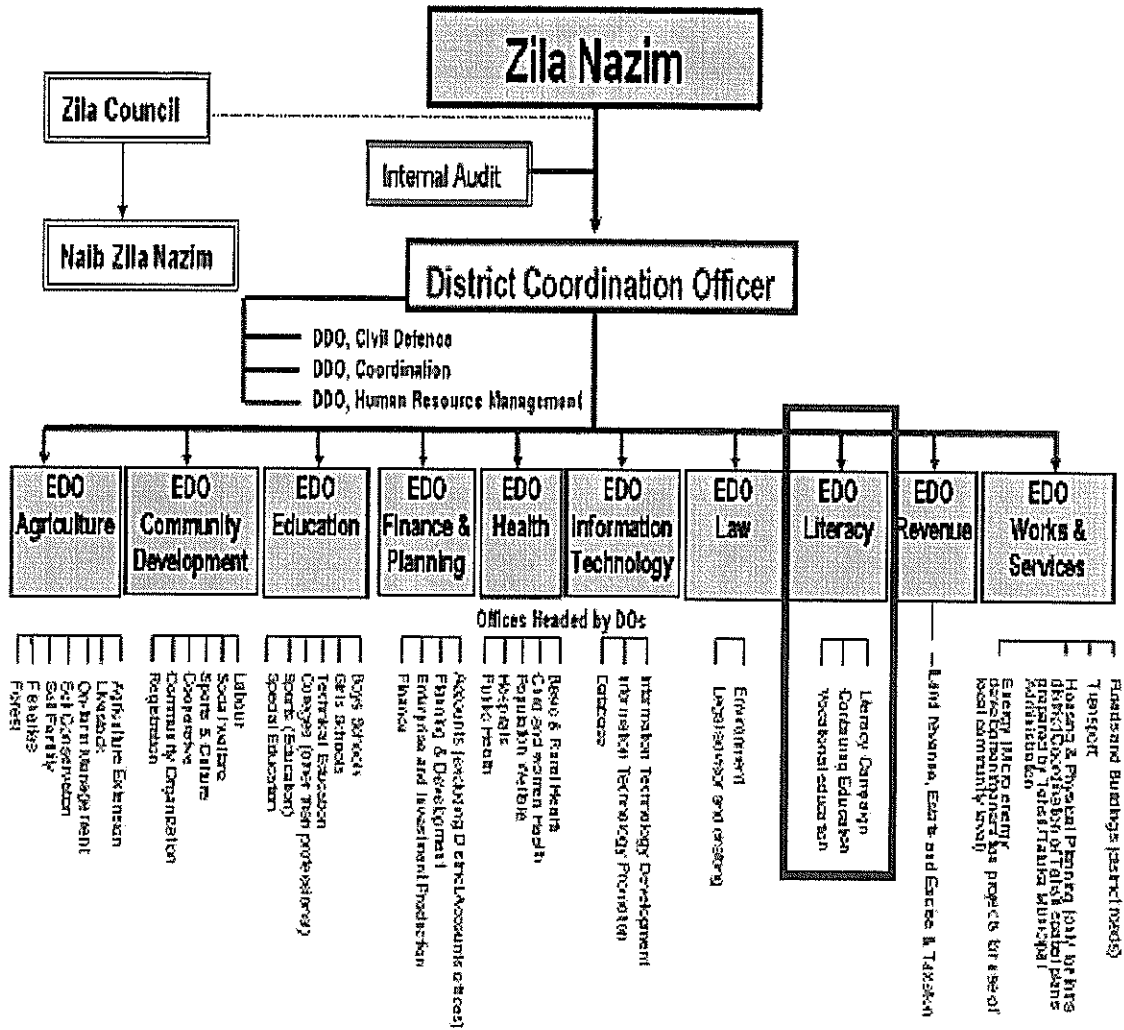
評価基準	設問項目	調査結果
	プロジェクトで蓄積した技術の持続可能性	<ul style="list-style-type: none"> • LitMIS データの維持管理のためには、プロジェクトで研修を受けて担当業務に長期従事した経験豊富な職員が継続して勤務されることが望ましい。しかし、県のプロジェクトオフィスにおいては、より条件のよい職場を求めて転職するものが相次いでいる。これは人材の損失であるとともに技術の損失でもある。技術・能力の持続性を考慮した場合に懸念される事項である。 • 人材不足の原因となる職員の離職の理由として、PC-1 の給与規定が、同じ学術レベルの人材に対する他の職場の平均給与より低いことの一つの理由となっている。優秀な人材を長期的に確保するためには、スタッフの就業環境を改善する必要があることから、フェーズが進むごとに増加すると想定される業務量と必要人員数のバランスを考慮しながら、給与設定を含めた就業環境の改善について検討することが期待される。 • 社会的・文化的課題について取り組みが必要である。成人識字センター（ALC）の中には、男性識字モビライザーが頻繁に学校を訪問するため、女性学習者の男性家族メンバーが ALC に通学させることをためらうという状況がある。他方、女性がバイクで移動するのは簡単ではないため、現在プロジェクトではモビライザーは男性のみを雇用している状況である。女性非識字者が ALC へ通学できるように何らかの対策を講じる必要がある。
	社会・文化的要因による本プロジェクトの自立発展性の見込み	<ul style="list-style-type: none"> •

パンジャブ州識字局組織体制図



出所：パンジャブ州識字行政改善プロジェクト短期専門家派遣・最終報告書、田中香、2007年2月

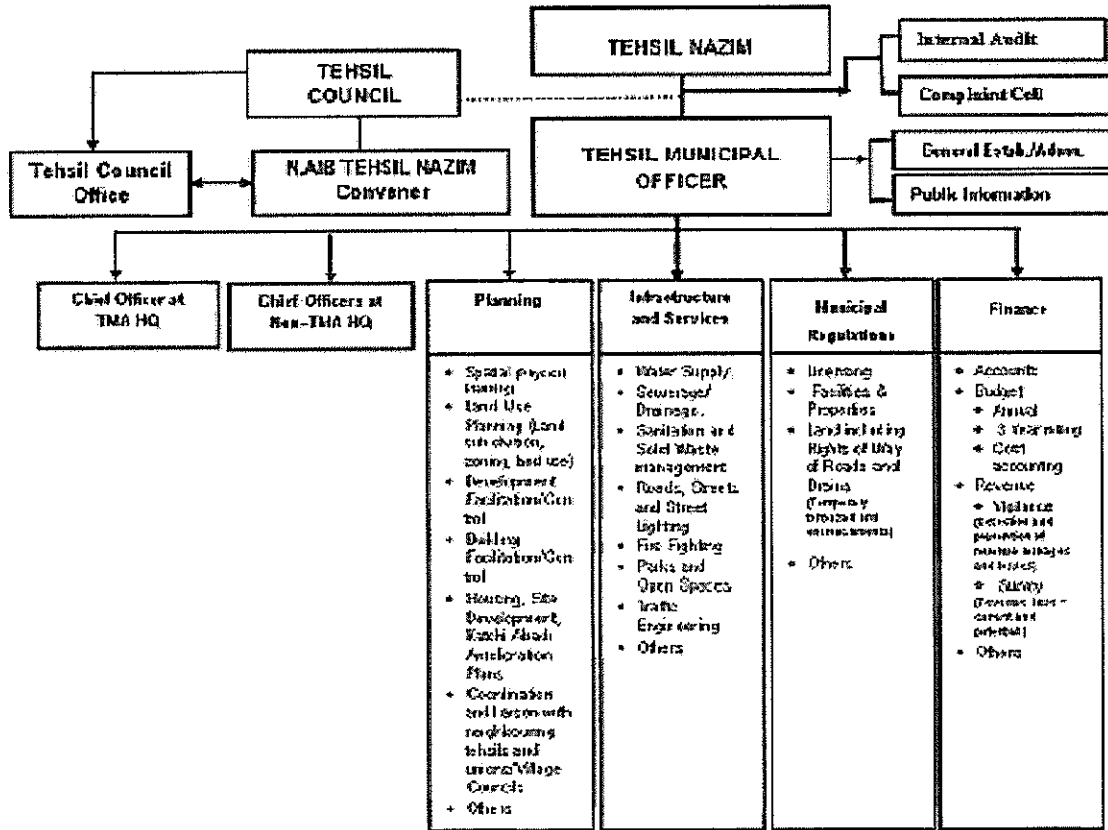
県 (District) 行政体制図



出所：パンジャブ州識字行政改善プロジェクト短期専門家派遣・最終報告書、田中香、2007年2月

テシール (Sub-District) 行政体制図

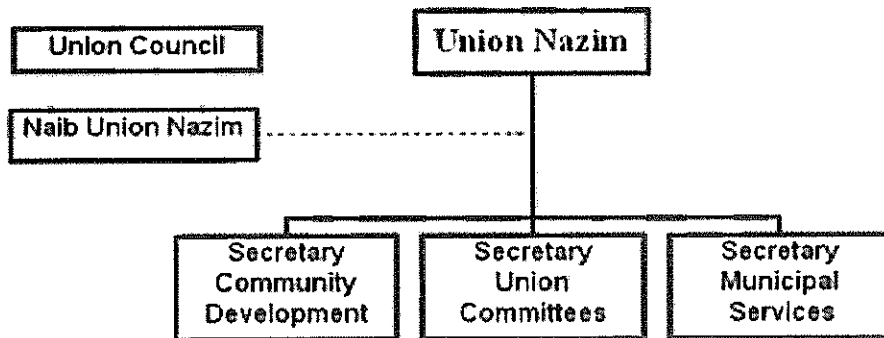
TEHSIL MUNICIPAL ADMINISTRATION ORGANIZATION



出所：パンジャブ州識字行政改善プロジェクト短期専門家派遣・最終報告書、田中香、2006年2月

ユニオン行政体制図

UNION ADMINISTRATION



出所：パンジャブ州識字行政改善プロジェクト短期専門家派遣・最終報告書、田中香、2006年2月

対象 4 県の識字率・裨益対象者数等に関する情報

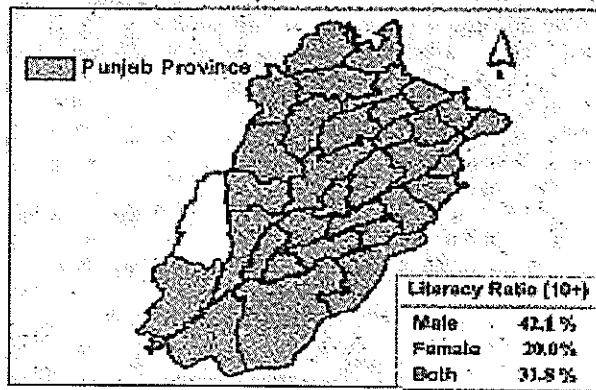
(1) D.G. ハーン県の識字者・識字率情報

District: DG Khan

Demographic Indicators

Age Groups (In Years)	Male	Female	Both Sexes
All	730,860	651,073	1,381,933
(05-09)	126,751	110,841	237,592
(10-14)	103,837	80,246	184,183
(05-14)	230,688	190,887	421,575
(15-19)	78,130	68,591	144,721
(20-24)	54,112	55,379	109,491
(25-29)	53,281	52,902	106,183
(30-35)	82,158	79,878	162,036
(15-35)	268,681	256,750	525,431

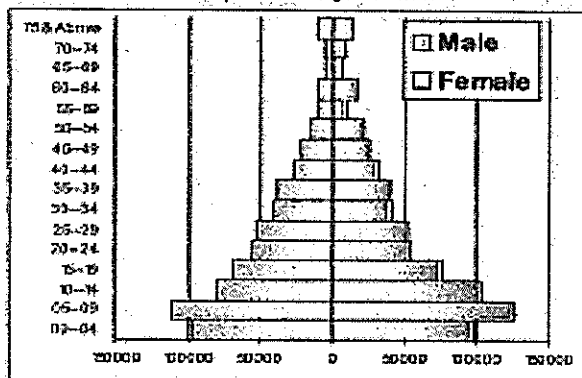
Location Map of District DG Khan



Out of School (Target) Children for Non Formal Basic Education School / Center Age Group (05-14)

Age Groups (In Years)	(Target Pop. 05-14 Age Group)		
	Male	Female	Both Sexes
(05-09)	88,648	85,209	173,857
(10-14)	53,165	50,897	104,062
(05-14)	141,813	136,106	277,919

Population Pyramid



Illiterate Population (Target) for Adult Literacy Centers Age Group (15-35)

Age Groups (In Years)	(Illiterate 15-35 Age Group)		
	Male	Female	Both Sexes
(15-19)	33,041	44,883	77,924
(20-24)	23,889	40,406	64,295
(25-29)	25,095	42,058	68,153
(30-35)	38,810	56,325	95,135
(15-35)	121,835	183,670	305,505

Literate Population by Educational Attainment (Potential Teachers)

	Male	Female	Both Sexes
Matric	45,641	16,561	62,202
Intermediate	15,007	6,571	21,578
B.A/ BSc or Equivalent	7,924	3,736	11,660
M.A/MSc or Equivalent & Above	3,788	1,587	5,375
Total	72,360	28,455	100,815

注: LitMIS データベース構築の実施は JICA-PLPP プロジェクトによる
世帯調査の実施は、県識字行政事務所、パンジャブ州識字局による

出所: LitMIS 報告書、2007 年 2 月

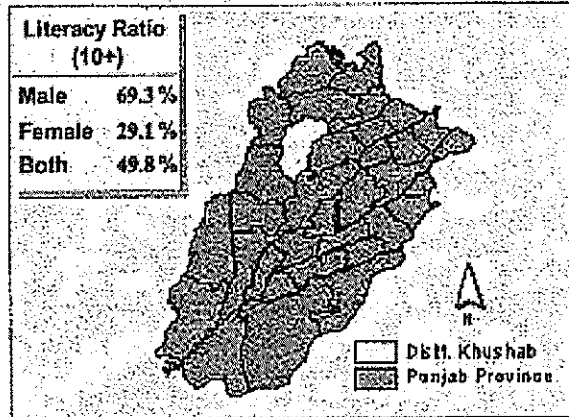
(2) フシャープ県の識字者・識字率情報

District: Khushab

Demographic Indicators

Age Groups (In Years)	Male	Female	Both Sexes
All	592,682	473,098	975,780
(05-09)	87,814	82,739	130,553
(10-14)	81,695	55,816	117,211
(05-14)	129,409	118,355	247,764
(15-19)	63,384	64,578	107,962
(20-24)	44,383	42,833	87,216
(25-29)	37,303	36,551	73,854
(30-35)	60,775	61,088	121,861
(15-35)	195,845	195,148	390,993

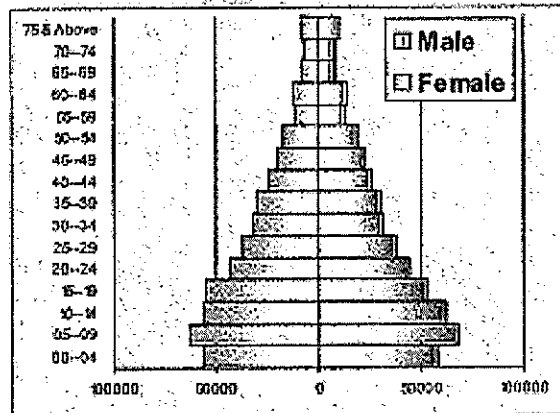
Location Map of District Khushab



Out of School (Target) Children for Non Formal Basic Education School / Center Age Group (05-14)

Age Groups (In Years)	(Target Pop. 05-14 Age Group)		
	Male	Female	Both Sexes
(05-09)	23,909	31,488	55,397
(10-14)	10,683	23,390	34,073
(05-14)	34,592	54,878	89,470

Population Pyramid



Illiterate Population (Target) for Adult Literacy Centers Age Group (15-35)

Age Groups (In Years)	(Illiterate 15-35 Age Group)		
	Male	Female	Both Sexes
(15-19)	8,203	27,381	35,584
(20-24)	6,627	25,842	32,289
(25-29)	6,797	25,240	32,037
(30-35)	12,538	38,440	50,978
(15-35)	34,166	116,703	150,869

Literate Population by Educational Attainment (Potential Teachers)

	Male	Female	Both Sexes
Matric	55,374	14,810	70,184
Intermediate	13,905	5,140	19,245
B.A/ BSc or Equivalent	6,766	3,037	9,803
M.A/MSc or Equivalent & Above	2,646	1,001	3,647
Total	78,691	24,188	102,879

注：LitMIS データベース構築の実施は JICA-PLPP プロジェクトによる世帯調査の実施は、県識字行政事務所、パンジャブ州識字局による

出所：LitMIS 報告書、2007 年 2 月

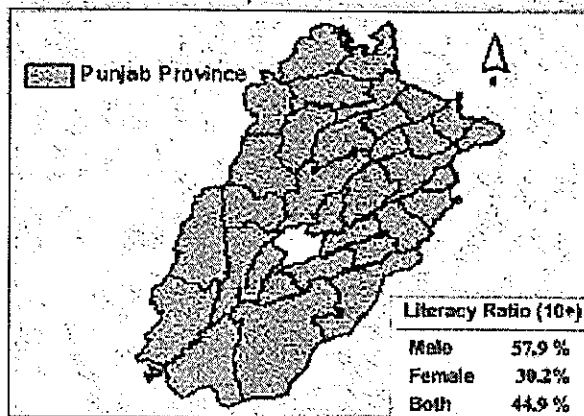
(3) ハーネーワール県の識字者・識字率情報

District: Khanewal

Demographic Indicators

Age Groups (In Years)	Male	Female	Both Sexes
All	954,393	863,758	1,818,151
(05-09)	137,878	128,606	266,484
(10-14)	123,083	106,868	230,031
(05-14)	260,941	233,574	494,515
(15-19)	106,465	103,539	210,004
(20-24)	85,137	79,948	165,083
(25-29)	74,393	69,937	144,390
(30-35)	114,959	110,103	225,062
(15-35)	380,954	363,585	744,539

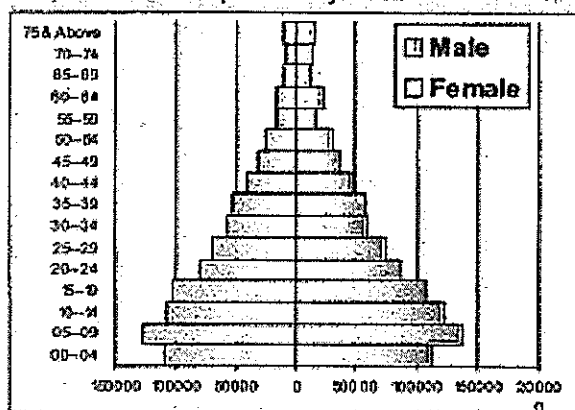
Location Map of District Khanewal



Out of School (Target) Children for Non Formal Basic Education School / Center Age Group (05-14)

Age Groups (In Years)	(Target Pop. 05-14 Age Group)		
	Male	Female	Both Sexes
(05-09)	69,125	74,637	143,762
(10-14)	36,674	48,985	85,659
(05-14)	105,799	123,622	229,421

Population Pyramid



Illiterate Population (Target) for Adult Literacy Centers Age Group (15-35)

Age Groups (In Years)	(Illiterate 15-35 Age Group)		
	Male	Female	Both Sexes
(15-19)	30,484	53,211	83,695
(20-24)	23,502	46,894	70,396
(25-29)	23,164	47,974	71,138
(30-35)	38,258	71,401	109,659
(15-35)	115,408	219,280	334,688

Literate Population by Educational Attainment (Potential Teachers)

	Male	Female	Both Sexes
Matric	82,226	29,447	111,673
Intermediate	24,343	10,539	34,882
B.A/ BSc or Equivalent	12,398	5,896	18,294
M.A/MSc or Equivalent & Above	4,200	2,029	6,229
Total	123,167	47,911	171,078

注：LitMIS データベース構築の実施は JICA-PLPP プロジェクトによる
世帯調査の実施は、県識字行政事務所、パンジャブ州識字局による

出所：LitMIS 報告書、2007 年 2 月

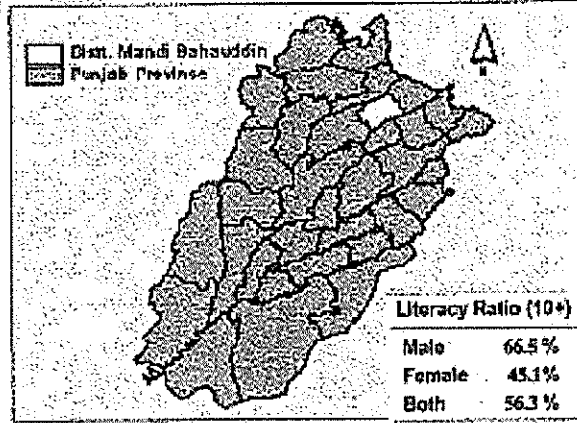
(4) マンディーバハーウッドディーン県の識字者・識字率情報

District: Mandi Bahaudin

Demographic Indicators

Age Groups (In Years)	Male	Female	Both Sexes
All	645,234	589,445	1,234,679
(05-09)	84,840	78,784	163,624
(10-14)	79,027	71,014	150,041
(05-14)	163,867	149,798	313,665
(15-19)	68,589	67,590	136,179
(20-24)	55,777	52,822	108,599
(25-29)	48,414	43,762	92,176
(30-35)	78,208	75,345	153,553
(15-35)	248,986	239,919	488,905

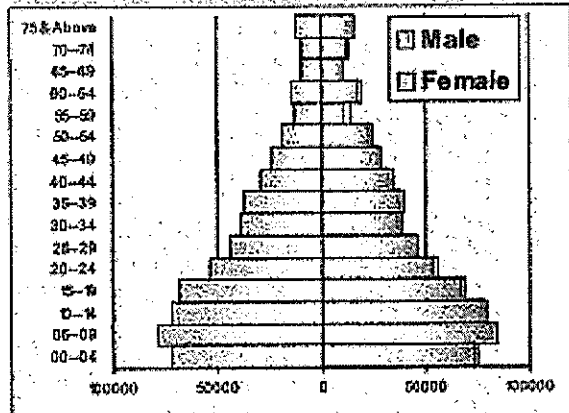
Location Map of District Mandi Bahaudin



Out of School (Target) Children for Non Formal Basic Education School / Center Age Group (05-14)

Age Groups (In Years)	(Target Pop. 05-14 Age Group)		
	Male	Female	Both Sexes
(05-09)	27,086	27,388	54,474
(10-14)	12,923	15,156	28,079
(05-14)	40,009	42,544	82,553

Population Pyramid



Illiterate Population (Target) for Adult Literacy Centers Age Group (15-35)

Age Groups (In Years)	(Illiterate 15-35 Age Group)		
	Male	Female	Both Sexes
(15-19)	11,503	18,214	29,717
(20-24)	9,414	17,824	27,238
(25-29)	9,326	19,807	29,233
(30-35)	17,220	38,309	55,529
(15-35)	47,463	94,254	141,717

Literate Population by Educational Attainment (Potential Teachers)

	Male	Female	Both Sexes
Matric	73,531	28,016	101,547
Intermediate	19,660	11,169	30,829
B.A/ BSc or Equivalent	9,066	5,813	14,884
M.A/MSc or Equivalent & Above	3,200	1,573	4,773
Total	105,457	46,576	152,033



注：LitMIS データベース構築の実施は JICA-PLPP プロジェクトによる
世帯調査の実施は、県識字行政事務所、パンジャブ州識字局による

出所：LitMIS 報告書、2007年2月

モニタリングマニュアルにおける調査項目シートと記載例

Section (A) 学校基本情報

Section (B) 記録簿情報

	FIELD MONITORING PROFORMA FOR NFBE SCHOOLS District: <u>Khushab</u> School Code: <u>0578</u> Visit Date: <u>13-05-06</u>		
	LITERACY & NON FORMAL BASIC EDUCATION DEPARTMENT-JICA Section (A) School Information		
1) Tehsil	Khushab		
2) Union Council	Anga		
3) Village	Kotli		
4) Basti	Dhokk Bhakbka		
5) School Address	halder Ali Basti Dhokk Bhakbka Village kotli UC anga tehsil & district khushab		
6) School Registration No.	0832		
7) School Timing	9:00 AM To 12:00 AM		

School Site and Teacher Information (Note: In case of site change then fills Q (13-14-15) or if teacher change then fills Q (17-18))

8) Place for learners	9) School Place Provided by/	10) School Condition	11) Status of School	12) Is the School Site Change?	13) If Yes, are the Learners same?
Room <input checked="" type="checkbox"/>	Community <input type="checkbox"/>	Good <input type="checkbox"/>	Functional <input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> Yes	<input checked="" type="checkbox"/> Yes
Open Place <input type="checkbox"/>	Teacher <input checked="" type="checkbox"/>	Fair <input type="checkbox"/>	Weak <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> No	<input type="checkbox"/> No
Cover Place <input type="checkbox"/>	Govt. Facility Shared <input type="checkbox"/>	Bad <input type="checkbox"/>	Non Functional <input type="checkbox"/>		
14) Reason for change of school location?	15) Date of school site change	16) Teacher Change	17) Reason for Change of Teacher	18) Date of Change	
		<input checked="" type="checkbox"/> Yes			
		<input type="checkbox"/> No			

19) Teacher Name Amina Haider 20) D/O, S/O, W/O Haider Ali

21) Teacher need refresher course: Yes / No (in case of Yes then fill (22)) 22) Subject English

23) School sign board is displayed: Yes / No

Section (B) Records Information							
Note: If registers are available then fill Q. No. (24, 26, 28 & 30)							
24) Admission register available		25) Admission register maintained		26) Attendance register available		27) Attendance register maintained	
Yes <input checked="" type="checkbox"/>	No <input type="checkbox"/>	Yes <input checked="" type="checkbox"/>	No <input type="checkbox"/>	Yes <input checked="" type="checkbox"/>	No <input type="checkbox"/>	Yes <input type="checkbox"/>	No <input checked="" type="checkbox"/>
28) Teacher Diary available		29) Teacher Diary maintained		30) Visit Book available		31) Visit Book maintained	
Yes <input type="checkbox"/>	No <input checked="" type="checkbox"/>	Yes <input type="checkbox"/>	No <input type="checkbox"/>	Yes <input type="checkbox"/>	No <input checked="" type="checkbox"/>	Yes <input type="checkbox"/>	No <input type="checkbox"/>

出所：NFBE Monitoring Proforma、パンジャブ州識字局、JICA-PLPP、2006年9月

Section (C) 村落教育委員会・教育委員会・NGO 情報
 Section (D) 学習者情報
 Section (E) 学習達成度評価

Section (C) VEC/EC & NGO Information													
32) VEC/EC is established: <input checked="" type="checkbox"/> Yes / <input type="checkbox"/> No						33) VEC/EC is Working/Active: <input checked="" type="checkbox"/> Yes / <input type="checkbox"/> No							
34) Supervising NGO <u>Al Noor Welfare Society</u>						35) NGO Supervisor visit the school: <input checked="" type="checkbox"/> Yes / <input type="checkbox"/> No							
36) Visit of NGO Supervisor (Since Last Visit of Literacy Mobilizer)						Visit-1: Date: <u>06/02/06</u> Supervisor: <u>Muhammad Aslam</u>							
Visit-2: Date: <u>09/03/06</u> Supervisor: <u>Kaloom Bibi</u>						Visit-3: Date: _____ Supervisor: _____							
Visit-4: Date: _____ Supervisor: _____						37) Total number of visits <u>2</u>							

Section (D) Learners														
Learners	Class	a		b		c		d		e		f		
		Class-I		Class-II		Class-III		Class-IV		Class-V		Total		
	Gender	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	B
38) Enrolled (As per register)		3	2	2	2	4	2	3	2	2		14	8	22
39) Present (At visit time)		3	2	2	2	3	2	2	2	1		11	8	19
40) Dropout (Since last visit *LM)					1			1				1	1	2
41) Newly Enrolled (Since last visit *LM)		2								2	2	2	2	4
42) Re-Admission (Since last visit *LM)														

Section (E) Learners Assessment						
Note: (Please follow the tips for grading the learner's progress) A= Excellent, B= Good, C= Satisfactory and D= Un Satisfactory						
Sr.No.	Subject	a: Class-I	b: Class-II	c: Class-III	d: Class-IV	e: Class-V
43)	Urdu	A	C	C	B	B
44)	English	B	C	B	D	C
45)	Math	B	C	B	D	D
46)	Over all Assessment	B	C	B	D	C

Signature of the Teacher (with date) _____

Observation: School is running satisfactory. Teacher is more hardworking and regular

Signature and Designation of the visitors

	Name and Designation
i.	M. Afzal Literacy Mobilizer
ii.	M. Nawaz NGO Supervisor
iii.	Akhtar VEC Member

	Signature
i.	_____
ii.	_____
iii.	_____

Signature of Data Entry Operator: _____

出所: NFBE Monitoring Proforma, パンジャブ州識字局, JICA-PLPP, 2006年9月

Section (F) 教材-I
 Section (G) 教材-II
 Section (H) 教材-III



MATERIAL VALUATION PROFORMA FOR NFBE SCHOOLS

District: Khushab
 School Code: 0578 Visit Date: 13-05-06



1) School Address	haider Ali Basi Dhokk Bhakbka Village kothi UC anga tehsil & district khushab
2) School Registration No.	0832

Note: If literacy officer or literacy Mobilizer visit the center for first time than check out the following lists

Section (F) Material-I								
Sr. No.	Description	Supplied A. Yes B. No	Sr. No.	Description	Supplied A. Yes B. No	Sr. No.	Description	Supplied A. Yes B. No
3	Sign Board	A	9	Attendance Register	A	15	Color chart	A
4	Black Board	A	10	Admission Register	A	16	Alphabets Chart	B
5	Teacher Chair	A	11	EDU Committee Register	A	17	Counting Chart	B
6	School Bell	A	12	Visitor Register	A	18	Fruits Chart	A
7	Flag	A	13	Wall Clock	A	19	Vegetables Chart	B
8	Teacher dairy	A	14	Birds Chart	A			

Section (G) Material-II			
Sr.No.	Description	Supplied A. Completely B. Partially C. No	Remarks (Note: If partially supplied then give number of material)
20	Slates (30)		
21	Slates (10 Box)	A	
22	Thakhti (30)	A	20
23	Progress Report (30)	A	
24	Chalks (10 Boxes)	A	
25	Mats (2)	A	

Section (H) Material-III				
Sr.No.	Books Supplied	Supplied A. Yes B. No	Quantity (Sets)	Remarks
26	CLASS-I	A	10	
27	CLASS-II	A	10	
28	CLASS-III	A	5	
29	CLASS-IV	B		
30	CLASS-V	B		

Form (C) Receiving date of material: 10-03-06 Signature: _____

出所: NFBE Monitoring Proforma、パンジャブ州識字局、JICA-PLPP、2006年9月

